データ管理

データBOX・便利ツールの各種ビューアについて 356

静止画を使いこなす

保存した画像を表示する.................... ＜イメージビューア＞361

静止画を編集する.................................＜画像編集＞366

動画を使いこなす

動画／ｉモーションを再生する........ ＜ｉモーションプレーヤー＞369

ブルーレイディスクレコーダーと連携する........................374

動画を編集する...................................＜映像編集＞374

ビデオを使いこなす

ワンセグを録画したビデオ・静止画を再生する..........＜ワンセグ＞376

キャラ電を使いこなす

キャラ電を再生する...................... ＜キャラ電プレーヤー＞378

マチキャラを使いこなす

マチキャラを表示する...........................＜マチキャラ＞379

メロディを使いこなす

メロディを再生する...................... ＜メロディプレーヤー＞380

microSDカードを使いこなす

microSDカードについて 382

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータをコピーする.............386

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータを移動する
.... ＜コンテンツ移行対応＞388

FOMA端末のデータを一括してバックアップ／復元する
.... ＜バックアップ／復元＞389

FOMA端末のデータをデータ種別ごとにバックアップ／復元する
.... ＜個別バックアップ／復元＞391

microSDカードのデータをプレビューする............. ＜microSD＞391

microSDカードの管理について....................................392

各種データを使いこなす

各種フォルダを管理する 394

各種データを管理する..395

赤外線通信を使いこなす

赤外線通信を利用する..........................＜赤外線通信＞399

ｉC通信を使いこなす

ｉC通信..403

データの送受信機能を設定する ....＜データ送受信設定＞404

ボイスレコーダーを使いこなす

ボイスレコーダーとして使う ....＜ボイスレコーダー＞404

PDFデータを使いこなす

PDFデータを表示する......................＜PDF対応ビューア＞405

ドキュメントビューアを使いこなす

Word、Excelファイルなどを表示する......＜ドキュメントビューア＞408

マンガ・ブックリーダーを使いこなす

電子書籍／電子辞書／電子コミックを表示する
.................................＜マンガ・ブックリーダー＞411

テレビに表示する

テレビに静止画や動画／ｉモーション、ムービーを表示する
....＜HDMI接続＞415

データBOX・便利ツールの各種ビューアについて

データの種類によって、それぞれのフォルダに保存されます。

- データの種類を選ぶと、前回データ参照を終了したときの参照先（FOMA端末またはmicroSDカード）が表示されます。

データBOXについて

■ マイピクチャ（☞P.361）

- FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます。

マイピクチャ（本体）	
→microSD	マイピクチャ（microSD）に切り替え
カメラ	FOMA端末で撮影した静止画用フォルダ
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR／Fなどで入手した画像用フォルダ
デコメピクチャ	デコメール®作成時に利用できる画像用フォルダ
デコメ絵文字※1	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている画像用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉＣ通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）、IrSS™通信を利用して入手した画像用フォルダ
アイテム	フレームやスタンプ用フォルダ
自動お預かり※2	お預かりセンターに保存する画像用フォルダ
手書きメモ	手書きメモ用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ

マイピクチャ（microSD）	
→本体	マイピクチャ（本体）に切り替え
カメラフォルダxxx※3	FOMA端末で撮影した静止画やDCF準拠のJPEG画像、GIF画像（GIFアニメーションを除く）用のフォルダ
（カメラフォルダ用ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
その他静止画	FOMA端末からコピーしたGIFアニメーションやDCF準拠していないJPEG画像、Flash画像用フォルダ
（その他静止画用ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
デコメ絵文字	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
（デコメ絵文字®用ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できない画像用フォルダ

※1 デコメ絵文字®は［デコメ絵文字］フォルダへ直接保存されます。また、デコメ絵文字®以外のデータは保存できません。

※2 お預かりセンターへの保存については☞P.136

※3 撮影した静止画を保存したり、FOMA端末から静止画をコピーすると［カメラフォルダ100］が自動的に作成され、ファイル数が1000件になると、［カメラフォルダxxx］（「xxx」は100～999の３桁の半角数字）という名前のフォルダが自動的に作成されます。

■ ミュージック（☞P.284）

- 着うたフル®やWMAファイルが保存されます。

■ Music&Videoチャネル（☞P.281）

- 取得したMusic&Videoチャネルの番組が保存されます（☞P.281）。

■ｉモーション・ムービー(☞P.369)

● FOMA端末で撮影した動画や録音した音声、取得したｉモーションが保存されます。

ｉモーション・ムービー(本体)	
→microSD	ｉモーション・ムービー(microSD)に切り替え
カメラ	FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手したｉモーション用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているｉモーション用フォルダ
外部取得データ	microSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したｉモーション用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
ｉモーション・ムービー(microSD)	
→本体	ｉモーション・ムービー(本体)に切り替え
動画(QVGA以下)	FOMA端末で撮影した「QVGA:320×240」以下の動画用フォルダ
(動画(QVGA以下)用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
レコーダー連携	ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画用フォルダ
動画(その他)※	「QVGA:320×240」を超える動画や、音声のみのｉモーションやボイスレコーダーで記録したデータ、およびパソコンから転送したデータ用フォルダ
(動画(その他)用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないｉモーション用フォルダ

※ [動画(その他)]フォルダにはデータを1000件まで保存できます。ファイル形式はMP4です。また、パソコンからは、MP4、ASF、3GPP形式のファイルが転送できます。ファイル名は、MMF0001～MMF9999です。FOMA端末では、1000件まで参照することができますが、次の場合には、データが表示されないことがあります。
- ■ 再生できないデータがあるとき
- ■ 1001件以上データが存在するとき
- ■ ファイル名が「MMFxxxx」(「xxxx」は数字)でないとき

■ メロディ(☞P.380)

● 着信メロディが保存されます。

メロディ(本体)	
→microSD	メロディ(microSD)に切り替え
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手したメロディ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているメロディ用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したメロディ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
メロディ(microSD)	
→本体	メロディ(本体)に切り替え
メロディ	あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないメロディ用フォルダ

■ マイドキュメント(☞P.405)

● PDFデータが保存されます。

マイドキュメント(本体)	
→microSD	マイドキュメント(microSD)に切り替え
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手したPDF用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているPDF用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したPDF用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
マイドキュメント(microSD)	
→本体	マイドキュメント(本体)に切り替え
PDF	FOMA端末からコピーしたり、サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手したPDF用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

■ きせかえツール(☞P.114)

● きせかえツールが保存されます。

きせかえツール(本体)	
→microSD	きせかえツール(microSD)に切り替え
ｉモード	サイトなどで入手したきせかえツール用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているきせかえツール用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
きせかえツール(microSD)	
→本体	きせかえツール(本体)に切り替え
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないきせかえツール用フォルダ

■ マチキャラ(☞P.379)

● マチキャラが保存されます。

マチキャラ(本体)	
→microSD	マチキャラ(microSD)に切り替え
ｉモード	サイトなどで入手したマチキャラ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているマチキャラ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
マチキャラ(microSD)	
→本体	マチキャラ(本体)に切り替え
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないマチキャラ用フォルダ

■ キャラ電(☞P.378)

● キャラ電が保存されます。

キャラ電	
ｉモード	サイトなどで入手したキャラ電用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているキャラ電用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

■ ワンセグ(☞P.376)

● FOMA端末で録画したビデオや静止画が保存されます。

ワンセグ(本体)	
→microSD	ワンセグ(microSD)に切り替え
イメージ	ワンセグで録画した静止画用フォルダ
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ
ワンセグ(microSD)	
→本体	ワンセグ(本体)に切り替え
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ

■ その他（☞P.408）

- Microsoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイルや画像ファイルなどが保存されます。

その他（本体）	
→microSD	その他（microSD）に切り替え
ｉモード	サイトなどで入手したドキュメント用フォルダ
外部取得データ	microSDカードを利用して入手したドキュメント用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
その他（microSD）	
→本体	その他（本体）に切り替え
その他	FOMA端末からコピーしたり、サイトやｉモードメール、メッセージR／Fなどで入手したドキュメント
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ

便利ツールの各種ビューアについて

■ マンガ・ブックリーダー（☞P.411）

- 電子書籍など（電子書籍／電子辞書／電子コミック）を表示できます。

マンガ・ブック（本体）	
→microSD	マンガ・ブック（microSD）に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手した電子書籍などのフォルダ
ｉモード	サイトなどで入手した閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている電子書籍などのフォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
マンガ・ブック（microSD）	
→本体	マンガ・ブック（本体）に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手したり、パソコンなどから保存した電子書籍などのフォルダ
マンガ	サイトなどで入手した、閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ

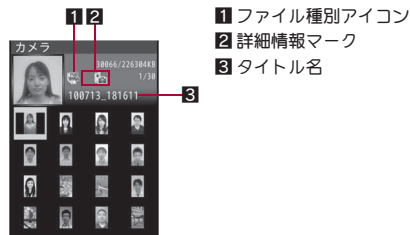
■ ドキュメントビューア（☞P.408）

- ［ドキュメントビューア］内のフォルダ一覧はデータBOXの［その他］内と同じ内容を表示します。

データ一覧画面の見かた

フォルダを選ぶとデータ一覧画面が表示されます。

- 表示方法の変更については☞P.361

例：［カメラ］フォルダのデータ一覧画面（表示切替：［ビジュアルメニュー］）

1 ファイル種別アイコン
2 詳細情報マーク
3 タイトル名

- タイトル表示は、全角８文字（半角16文字）までです（文字サイズの設定や一覧画面の表示方法により、表示される文字数は異なる場合があります）。

● i モーションの場合、画像の代わりに次のように表示されるときがあります。
■ [ ]が表示
・ 音声のみのデータ
・ 画像サイズが非対応のデータ
・ 画像ファイル形式が非対応のデータ
■ [ ]が表示
・ テキストのみのデータ
・ 画像が壊れていたり表示できないデータ
■ [ ]が表示
・ ダウンロードの途中で保存したデータ
● PDFデータの場合、画像の代わりに[ ]や[ ]、[ ]と表示される場合があります。PDF対応ビューアを起動すると画像が表示されるようになります。
● Microsoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointの場合、画像の代わりに[ ]や[ ]、[ ]と表示される場合があります。ドキュメントビューアを起動すると画像が表示されるようになります。

アイコンの種類とマークの説明

■ ファイル種別アイコン

静止画の種類

JPEG				
12M：3000×4000	8M：2448×3264	5M：1944×2592	3M：1536×2048	フルHD：1080×1920
12M	8M	5M	3M	Full HD

JPEG				
待受：480×854	VGA：480×640	ワンセグ：320×180	QVGA：240×320	QCIF：176×144
Full WVGA	VGA		QVGA	QCIF

JPEG その他	GIF画像 GIF アニメーション	Flash画像
JPG	GIF	

i モーションの種類

MP4／Mobile MP4				ブルーレイディスクレコーダーから転送	ASF
再生制限なし	再生制限あり				
	再生期間	再生期限	再生回数		
MP4	MP4	MP4	MP4	RECO RDER	ASF

メロディの種類

SMF	MFi	
	3D情報なし	3D情報あり
SMF	MFi	MFi 3D

PDFの種類

すべてのページをダウンロード	ページ単位で部分的にダウンロード	ダウンロード失敗
PDF	Deta	Deta

データ管理

その他のファイルの種類

Microsoft Word	Microsoft Excel	Microsoft PowerPoint	PNG	BMP	その他※
DOC	XLS	PPT	PNG	BMP	?

※ FOMA端末では表示できません。

FOMAカードセキュリティ機能が設定されたファイル

メロディの種類について

- MFi(3D情報あり)を[移行可能コンテンツ]フォルダに保存したときは、MFi(3D情報なし)が表示されますが、3D情報は保持しています。

■ 詳細情報マーク

	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているファイル
	フレーム画像、またはスタンプ画像
DL	ｉモードなどで取得したファイル※
EX	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉＣ通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02、IrSS™通信を利用して取得したファイル※
	カメラ撮影したファイル
	テレビ電話中に撮影したファイル
	電子書籍などで保存した静止画
JPG PDF	PDF対応ビューアの表示画面を切り出して保存した静止画
	位置情報が付加されている静止画
	手書きした静止画
	ワンセグで録画した静止画

※ フレーム画像、スタンプ画像は除く

データの表示方法を変更する

■ データ／フォルダ一覧画面の表示方法を変更する ＜表示切替＞

例：マイピクチャのとき

1 データ一覧画面でMENU▶[静止画設定]▶[表示切替]

2 表示方法を選ぶ▶●

- 設定できる項目は画面によって異なります。

■ 全画面モードで表示する

1 画像／ｉモーションのデータ一覧画面で画像を選ぶ▶📷

イメージビューア

保存した画像を表示する

データBOXのマイピクチャに保存された画像を表示します。

- HDMI接続したテレビに画像を表示することができます(☞P.415)。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

- [カメラ／TV／MUSIC]▶[カメラ]▶[静止画アルバム]でも操作できます。
- カンタン検索：✉
- ピクチャテーブルを表示：i

2 画像を選ぶ▶●

画像表示画面

- 画像の保存件数が多くなると画像表示が遅くなるときがあります。
- サイトなどからダウンロードしたGIFアニメーションやFlash画像は、見えかたが異なるときがあります。

■ 画像表示画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
操作ガイド※1	MENU	スクロール※2	✥
左90度回転(JPEG画像)	📷	前の画像を表示※3	◀
表示切替(全画面モード⇔通常モード)(JPEG画像以外)	📷	次の画像を表示※3	▶
メール／ブログ機能	✉	顔検出ズーム(JPEG画像)	☎／8
高速赤外線通信(IrSS™機能)で送信(JPEG画像)	i	縮小(JPEG画像)※4	1
全画面モード切替(JPEG画像)	⊙	ピクチャテーブル表示(JPEG画像以外)	1
縮小／等倍／拡大(GIF画像)	⊙	拡大(JPEG画像)	3
再生／一時停止(Flash画像)	⊙	前の画像を表示	4
		エフェクト切替	5
		次の画像を表示	6
		ピクチャテーブル表示	✱

※1 HDMI出力中のみ操作できます。
※2 画像が画面より大きい場合にスクロールします。
※3 画像が画面より小さい場合、または画像が画面より大きく画像の右端／左端が表示されている場合に次／前の画像を表示します。
※4 縮小し続けると、ピクチャテーブル表示になります。

- GIFアニメーションやFlash画像は、縮小／等倍／拡大の切り替えができません。
- 次／前の画像を表示するときに画像が乱れたり、表示されないことがあります。
- Flash画像再生中は、表示切替できません。停止してから操作してください。

■ 画像表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.45
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
回転 Rotate	左90度回転※1	IrSS	高速赤外線通信(IrSS™機能)で送信※4
等倍↔FIT 1/1↔FIT	等倍⇔フィット※2	✉	メール添付／メール挿入／ブログ投稿※4
▶II	再生／一時停止※3		

※1 JPEG画像の場合に表示されます。
※2 GIF画像の場合に表示されます。
※3 Flash画像の場合に表示されます。
※4 操作可能な場合に表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
次へ／前へ	左右にスライド
ズームバー表示※1	ロングタッチ
拡大／縮小※2	2本の指の間隔を広げる／狭める
ピクチャテーブル表示※3	2本の指の間隔を広げる／狭める
表示切替(全画面モード⇔通常モード)	画面をタッチ

※1 ズーム可能なJPEG画像のみ表示されます。ズームバーのスライダを左右にスライドするか、ズームバーをタッチして画像を拡大／縮小します。
※2 JPEG画像のみ操作できます。縮小し続けると、ピクチャテーブル表示になります。
※3 JPEG画像以外で操作できます。

- 画像を拡大して表示している場合は、上下左右にスライドして表示位置を変更します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

メニュー	参照
[フォルダ管理]	
▶[フォルダ新規作成]	☞P.394
▶[フォルダ名編集]	☞P.395
▶[フォルダセキュリティ]	☞P.395
[削除]	☞P.395
[microSDへ移動]	☞P.389

[microSDへ全件コピー] ☞P.387

[データ送信]

▶[赤外線送信] ☞P.402

[静止画設定]

▶[表示切替] ☞P.361

▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶◉
● 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

▶[スライドショー開始]
● 設定したフォルダ内の画像を連続して表示します。

▶[スライドショー再生間隔]▶速度を選ぶ▶◉

▶[スライドショー効果設定]▶効果を選ぶ▶◉

▶[ピクチャテーブル] ☞P.365

[メモリ確認] ☞P.399

[本体⇔microSD切替]

■ 画像一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.362)を参照してください。
■ データ送信(赤外線送信)
■ 静止画設定(表示切替、バックライト点灯時間、スライドショー開始、スライドショー再生間隔、スライドショー効果設定)
■ 本体⇔microSD切替

[編集・情報表示]

▶[手書き編集]
● 以降の操作については☞P.420「手書きメモを作成する」の操作2へ

▶[画像編集] ☞P.366

▶[プチエステ] ☞P.369

▶[タイトル編集] ☞P.395

▶[ファイル名編集] ☞P.396

▶[ファイル制限]▶設定を選ぶ▶◉
● 静止画のFOMA端末外への出力を制限します。

▶[サイト接続]▶[はい]

▶[情報表示] ☞P.397

[削除] ☞P.397

[分類登録] ☞P.396

[画面設定] ☞P.365

[移動/コピー]

▶[フォルダ間移動] ☞P.396

▶[microSDへ移動] ☞P.389

▶[microSDへコピー] ☞P.388

▶[自動お預かりへ移動] ☞P.137

▶[お預かりセンターに保存] ☞P.138

▶[お預かり済アイコンクリア] ☞P.137

[データ送信]

▶[ｉＣ送信] ☞P.404

▶[地点情報送信] ☞P.454

[静止画設定]

▶[ソート] ☞P.396

▶[音量設定]▶Ⓞで音量を調節▶◉
● Flash画像再生時の音量を調節します。

[位置情報]

▶[位置情報利用] ☞P.354

▶[位置情報付加] ☞P.354

▶[位置情報削除]▶[はい]

[ファイル制限]について

● FOMA端末で撮影、または編集して作成したデータに設定できます。ただし、編集するデータによっては設定できないものもあります。

■ 画像表示画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、画像一覧画面のサブメニュー操作（☞P.363）を参照してください。
■ 編集・情報表示（タイトル編集、サイト接続、情報表示）
■ 分類登録　■ 画面設定　■ データ送信（ｉＣ送信、地点情報送信）

[リトライ]（Flash画像のみ）

[メール／ブログ機能]
- [メール添付] ☞P.248
- [メール挿入] ☞P.248
- [投稿] ☞P.248

[編集・情報表示]
- [手書き編集]（Flash画像以外）
  - 以降の操作については☞P.420「手書きメモを作成する」の操作２へ
- [画像編集]（Flash画像以外） ☞P.366
- [プチエステ]（Flash画像以外） ☞P.369
- [ファイル名編集]（Flash画像以外） ☞P.396
- [ファイル制限]（Flash画像以外）▶設定を選ぶ▶◉
  - 静止画のFOMA端末外への出力を制限します。

[１件削除] ☞P.397

[顔登録]（Flash画像以外） ☞P.366

[移動／コピー]
- [１件移動] ☞P.396
- [microSDへ１件移動] ☞P.389
- [microSDへ１件コピー] ☞P.388
- [お預かりセンターに保存]
  - 以降の操作については☞P.138「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作３へ
- [自動お預かりへ移動]
  - 自動お預かりへ移動の詳細については☞P.137

[データ送信]
- [赤外線送信] ☞P.402

[静止画設定]
- [ピクチャテーブル] ☞P.365
- [ズーム]（Flash画像以外）▶ズームの種類を選ぶ▶◉
- [回転]（Flash画像以外）▶回転の方向（角度）を選ぶ▶◉
- [エフェクト設定]▶設定を選ぶ▶◉
  - 次／前の画像に切り替えるときのエフェクト（効果）を設定します。
- [バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶◉
  - 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。
- [音量設定]（Flash画像以外）▶Ⓢで音量を調節▶◉
  - Flash画像再生時の音量を調節します。
- [自動回転設定]（Flash画像以外）▶設定を選ぶ▶◉
  - JPEG画像の場合、ディスプレイ内で最大に見えるように、自動的に回転して表示できます。
- [表示モード]（Flash画像以外）▶設定を選ぶ▶◉
- [ライトアップ]（Flash画像以外）

[位置情報]（Flash画像以外）
- [位置情報利用] ☞P.354
- [位置情報付加] ☞P.354
- [位置情報削除]▶[はい]

● Flash画像再生中は操作できません。停止してから操作してください。

[ズーム]について

- GIFアニメーション、BMP画像、PNG画像、フレームやスタンプ、Flash画像はズームできません。
- GIF画像は[等倍⇔フィット]のみ選択できます。
- 次のような画像は、顔検出ズームができない場合があります。
  - ■ 顔が小さい　■ 顔が正面を向いていない
  - ■ 複数の顔がある　■ 顔の前に物などがある

[顔登録]、[回転]、[自動回転設定]について

- JPEG画像以外の画像は操作できません。

[表示モード]について

- 全画面モードはディスプレイ内に納まるサイズ、ワイドモードは余白が付かないサイズです。

ピクチャテーブル表示にする<ピクチャテーブル>

ピクチャテーブル表示にすると、指定したフォルダ内の画像を縮小して一覧で表示します。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 フォルダを選ぶ▶MENU▶[静止画設定]▶[ピクチャテーブル]

- iを押しても、ピクチャテーブル表示にすることができます。
- 全画面表示：📷
- フォルダ切替：MENU▶フォルダを選ぶ▶◉
- 画像を選択すると、画像表示画面が表示されます。

■ ピクチャテーブル表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.45
- コントロールボタンで次の操作ができます。

[フォルダ切替アイコン]	フォルダ切替

- 次のタッチ操作ができます。

カーソルの移動	カーソルをタッチしたまま上下左右にスライド
画面を上下にスクロール※	上下にスライド
画像表示画面の表示	画像をタッチ

※ スクロールバーのスライダを上下にスライドするか、スクロールバーをタッチしてもスクロールできます。

画像を待受画面などに設定する<画面設定>

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶MENU▶[画面設定]

3 画面設定の種類を選ぶ▶◉

- 待受画面に設定するとき：[待受画面設定]▶設定先を選ぶ▶◉▶[はい]
  - ・画像のサイズによっては、表示サイズ選択画面が表示されます。表示サイズを選んでください。
- 電話帳に登録するとき：[電話帳画像設定]▶電話帳に登録
- スケジュールを作成するとき：[スケジュール画像設定]▶スケジュールを登録

- フレームやスタンプ、ワンセグで録画した静止画は画面設定できません。
- microSDカード内の静止画は、直接設定できません。FOMA端末にコピー／移動してから登録してください。
- Flash画像は、待受画面、発着信画面、メール送受信画面、電話帳に設定できます。
- スケジュールを作成する場合、表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
  - ■ 日時：静止画の保存日時　■ 画像：静止画

静止画を添付してｉモードメールを送信する

静止画をメールに添付して送信できます。また、デコメール®として送信したり、ブログ／SNSに投稿することもできます。

- ファイルの添付については☞P.153

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶✉

3 送信方法を選ぶ▶◉

- 送信方法についてはP.248「撮影後すぐに静止画または動画を送る」の操作2へ

データ管理

次ページへ続く▶▶

4 メール／デコメール®を作成・送信

静止画を高速赤外線通信で送信する(IrSS™機能)

マイピクチャから静止画(JPEG画像)をIrSS™機能対応機種に送信できます。
- 赤外線通信機能をお使いになるときのご注意については☞P.401

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶[i]
- 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。

3 [画像を縮小]▶[OK]
- そのまま送信するとき：[そのまま送信]
- 通信の中止：◉

- IrSS™機能とは、IrSimple™ 1.0規格準拠の片方向通信機能(Home Appliance Profile)です。
- IrSS™通信は、片方向通信のため受信側からの応答を確認せずに送信します。受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

静止画から顔情報を登録する<顔登録>

静止画から顔の画像を検出して登録したり、登録した顔情報名を顔検出ズーム時に表示したりできます。また、登録した顔情報を利用してデータBOX検索やアルバム表示をすることもできます。
- 顔情報は10件まで登録できます。
- 静止画撮影から顔情報を登録することもできます(☞P.246)。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶◉

3 MENU▶[顔登録]▶[顔検出ズーム]
- [✓]でも操作できます。
- 登録する顔が拡大表示されます。
  - 複数の顔が検出されている場合は、[✓]を押すたびに拡大表示される顔が切り替わりますので、登録する顔を拡大表示させてください。

4 MENU▶[顔登録]▶[新規登録]
- [✓](1秒以上)でも操作できます。
- 顔情報がすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きする顔情報を選択すると登録できます。
- 登録済みの顔情報を編集：[編集]▶編集する顔情報を選ぶ▶◉
  - 個人検出一覧画面が表示されます。
- 以降の操作については☞P.246「顔情報を登録する」の操作4へ
- 登録済の顔情報の削除については☞P.246

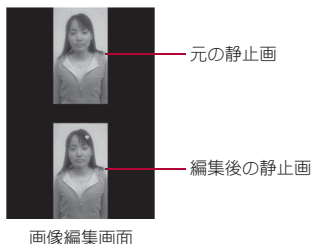
画像編集

静止画を編集する

画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。
- 編集前の静止画のサイズによっては、利用できない編集メニューがあります。
- 画像エフェクトや画像補正、プチエステなどは、静止画によって効果に差があります。
- FOMA端末外から取得した静止画は編集できないときがあります。
- 画像編集を行うと画質が劣化したり、データの容量が増減するときがあります。
- Flash画像やGIFアニメーションは編集できません。
- 人物の顔などを編集した静止画は、人格権および肖像権を尊重し、中傷にならないようにご配慮ください。
- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、編集中の静止画とは異なって見えることがあります。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶MENU▶[編集・情報表示]▶[画像編集]
- [✉]を押すと画像編集メニューの非表示／表示を切り替えることができます。画像編集メニューを選択して編集することができます。

3 静止画を編集

画像編集画面

4 [カメラ] ▶ [はい]

- 保存後に続けて編集するとき：[i]

5 [OK]

- タイトルの編集：[タイトル編集] ▶ タイトル入力欄を選ぶ ▶ ◉ ▶ タイトルを編集 ▶ ◉ ▶ [カメラ] ▶ [OK]
  - ・全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
- 保存先の変更：[フォルダ変更] ▶ フォルダを選ぶ ▶ [カメラ] ▶ [OK]
- 保存してメールに添付：[メール作成] ▶ メールを作成・送信

■ 画像編集画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.45
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
完了 Complete	編集を完了	編集メニュー Edit ON/OFF	画像編集メニューの非表示／表示
保存 Save	保存	確認 Check	画像編集画面に戻る※

※ 画像表示画面でのみ操作できます。

- 次のタッチ操作ができます。

画像表示画面の表示	画像をタッチ

■ 画像編集画面のサブメニュー操作

[画像確認]
- ▶ [編集前画像確認]
- ▶ [編集後画像確認]

[画像切り出し] ☞P.368

[サイズ変更] ▶ サイズを選ぶ ▶ ◉

[画像回転] ▶ 種類を選ぶ ▶ ◉

[エフェクト]
- ▶ [画像エフェクト] ▶ 種類を選ぶ ▶ ◉
  - 静止画の色合いやタッチを変更します。
- ▶ [フェイスエフェクト] ▶ 種類を選ぶ ▶ ◉
  - 人物の顔に喜怒哀楽などの表情効果を付けます。
- ▶ [フェイスエフェクト（鏡面）] ▶ 項目を選ぶ ▶ ◉
  - 人物の顔を左右対称にします。

[画像補正] ▶ 種類を選ぶ ▶ ◉
- 静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。

[スタンプ]
- ▶ [画像スタンプ] ▶ スタンプを選ぶ ▶ [カメラ] ▶ ✪で貼り付け位置を調整 ▶ ◉ ▶ [MENU]
- ▶ [フェイススタンプ] ▶ 種類を選ぶ ▶ ◉
- ▶ [文字スタンプ] ☞P.368

[フレーム] ▶ 種類を選ぶ ▶ [カメラ]

[顔検出位置修正] ☞P.368

[元に戻す] ▶ [はい]

[サイズ変更]について

- サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。
- 現在の横（縦）サイズを変換後の横（縦）サイズに拡大または縮小します。「アイコン：152×152」にサイズ変更する場合、上下（左右）が足りないときは、静止画を中央に配置して上下（左右）に余白が付きます。
- [デコメール用]にサイズ変更する場合、画像が縮小される旨の確認メッセージが表示されたときは、[はい]を選択するとサイズ変更できます。

次ページへ続く ▶▶

[画像回転]について

- 画像サイズが1.2Mバイトより大きいときは、画像が縮小される旨の確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると回転できます。
- 縦と横のサイズが異なる静止画を90度回転させると、縦横比が変わります。
- 静止画によっては、保存先フォルダを指定できないときがあります。

[フェイスエフェクト]、[フェイスエフェクト(鏡面)]、[フェイススタンプ]について

- 静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないことがあります。正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときは☞P.368

[フレーム]について

- FOMA端末にはあらかじめ「待受:480×854」、「VGA:480×640」用のフレームが登録されています。

[元に戻す]について

- 取り消しは1回のみ可能です。続けて取り消し操作を行うと、未編集状態に戻ります。

静止画のサイズを修正する<画像切り出し>

1 画像編集画面でMENU ▶ [画像切り出し]

2 サイズを選ぶ ▶ ◉

3 ✣で切り出し部分を指定 ▶ ◉

- 画面の拡大/縮小:📷/MENU

- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りないときは、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

文字スタンプを貼り付ける<文字スタンプ>

1 画像編集画面でMENU ▶ [スタンプ] ▶ [文字スタンプ]

2 種類を選ぶ ▶ ◉

- [フリーワード]のとき:文字入力欄を選ぶ ▶ ◉ ▶ 文字を入力 ▶ ◉ ▶ 📷
  - ・全角11文字(半角22文字)まで入力できます。文字が画面の幅を超えるときは、はみ出した部分が削除されます。

3 ✣で貼り付け位置を調整

- 文字サイズの変更:✉/i
- 文字色の変更:MENU ▶ 文字色を選ぶ ▶ ◉

4 ◉

各部の輪郭情報を手動で設定する<顔検出位置修正>

フェイスエフェクトやフェイススタンプ、プチエステで利用する顔の各部の輪郭情報を、手動で設定できます。

1 画像編集画面でMENU ▶ [顔検出位置修正]

2 指定する部位を選ぶ

- 顔の輪郭を指定(赤枠):MENU
- 口の輪郭を指定(黄枠):📷
- 左目の輪郭(緑枠)と右目の輪郭(青枠)を指定:✉
- それぞれのボタンを押すたびに、[+]の位置が切り替わります。

3 ✣で輪郭を指定する

例:顔の輪郭のとき

✣で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせる。

✣で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる。

- 操作2～3を繰り返し、すべての輪郭を指定します。

4 ◉

データ管理

人物の顔をメークアップする<プチエステ>

人物の顔の静止画に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶MENU▶[編集・情報表示]▶[プチエステ]

3 効果を選ぶ▶◉

- 静止画の保存については☞P.367「静止画を編集する」の操作4へ

● 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときは☞P.368

ｉモーションプレーヤー

動画／ｉモーションを再生する

データBOXのｉモーション・ムービーに保存されたｉモーションを再生します。

● HDMI接続したテレビに動画／ｉモーションを表示することができます（☞P.415）。

● 市販のBluetooth機器を接続すると、ｉモーションの音声をBluetooth機器から再生できます（☞P.452）。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション・ムービー]

- [カメラ／TV／MUSIC]▶[カメラ]▶[動画再生]でも操作できます。
- カンタン検索：✉

2 ｉモーションを選ぶ▶◉

再生状態のマーク

ｉモーション再生画面

再生状態のマーク

再生状態	リピート再生	⤾
	Dolby Mobile 設定	（アイコン）
	オリジナルの設定項目を選んだとき	SS NB SLC MS
	Bluetooth出力中	（Bluetoothアイコン）
再生状態	画像サイズ	S QCIF, QCIF, CIF, Q QVGA, H QVGA, QVGA, W QVGA, VGA, FWVGA, WIDE, HD, Full HD
	バッファリング中表示（標準タイプ・ストリーミングタイプ）	（アイコン）
	ダウンロード未完了	DL
再生種別	音声あり	（アイコン）
	映像あり	（アイコン）
	テロップあり	（アイコン）
	音声再生不可	（アイコン）
	映像再生不可	（アイコン）
音量※		0～25

※ ミュート中は、数字の上に[⊘]が重なって表示されます。

データ管理

次ページへ続く▶▶

- 再生可能なｉモーションの種類は次のとおりです。

ファイル形式		符号化方式
MP4（拡張子：「.mp4」「.3gp」「.m4a」）	映像	MPEG-4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（拡張子：「.asf」）	映像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726

- 符号化方式がH.263のｉモーションは、「CIF：352×288」、「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」が再生可能です。
- 符号化方式がMPEG-4の場合、「1280×720」より大きいサイズのｉモーションは再生できません。符号化方式がH.264の場合、「1920×1080」より大きいサイズのｉモーションは再生できません。
- ｉモーションにテロップが付いていても、テロップは表示されません。
- ダウンロードの途中で保存したｉモーションを選ぶと、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。
- 音声のみのｉモーションを再生すると、画面には固定のアニメーションが表示されます。
- 再生中に着信やアラーム動作があると、再生は中止され、ｉモーションの停止画面に戻ります。
- 再生中にFOMA端末を閉じても、再生は継続されます。

■ ｉモーション再生画面のボタン操作

操作	ボタン
一時停止／再生	●
停止	ｉ
音量調節（音量０～25）※1※2	↕
ミュート／解除	CLR
前のｉモーションを再生※3	←
コマ戻し（一時停止中）	←
早戻し※4	←（１秒以上）
次のｉモーションを再生※3	→
コマ送り（一時停止中）	→
早送り※4	→（１秒以上）
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※5	1：先頭 2～9：総再生時間の約1/9ずつ先の位置
再生時間の表示※6	0
操作ガイドの表示※6	MENU
表示切替（通常モード／全画面モード／フルワイドモード※7）※8	カメラ
メール／ブログ機能※9	メール
ライトアップ※2	#（１秒以上）

※1 ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※2 HDMI出力中は操作できません。
※3 ｉモーション停止中も操作できます。
※4 [レコーダー連携]フォルダ内の動画のときは、早送り／早戻し中に通常再生になることがあります。
※5 総再生時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。
※6 HDMI出力中のみ操作できます。
※7 ｉモーションのサイズによって、フルワイドモードでは再生できないことがあります。
※8 HDMI出力中、サイトからｉモーションを取得再生中はｉモーションを保存できます。保存先を選択し、カメラを押してください。
※9 HDMI出力中はチャプター一覧を表示します。

- 通常ポジションで全画面モード、フルワイドモード中は↕と↔の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持って操作してください。

- データに制限があるときなど、操作ができなかったり、再生画面の総再生時間が正しく表示されないことがあります。

■ ｉモーション再生画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.45
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
⏮ 長押し Hold ◁◁	前のｉモーションを再生※1	音量 Volume 長押し Hold	音量ダウン※2※3
▶II	一時停止／再生	■ 停止 Stop	停止

データ管理

⏭ 長押	次のｉモーションを再生 ※1	画面サイズ切替	表示切替
音量 長押	音量アップ※2※3	✉	添付メール作成※4

※1　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。
※2　ロングタッチすると、連続して音量を調節できます。
※3　Bluetooth出力中は表示されません。
※4　添付可能な場合に表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
ミュート／解除	音量アイコンをタッチ
次／前のｉモーションを再生	左右にすばやくスライド

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.394
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.395
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.395

[削除] ☞P.395

[連続再生]
- ▶[連続再生開始]
  - ● 指定したフォルダ内のｉモーションを連続して再生します。
- ▶[リピート再生設定]▶設定を選ぶ▶⦿
- ▶[ダイジェスト再生設定]▶再生時間を選ぶ▶⦿
  - ● 各ｉモーションの最長再生時間を設定します。

[microSDへ移動] ☞P.389

[microSDへ全件コピー] ☞P.387

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.402
- ▶[ｉＣ送信] ☞P.404

[ｉモーション・ムービー設定]
- ▶[表示切替] ☞P.361
- ▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶⦿
  - ● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

[メモリ確認] ☞P.399

[本体⇔microSD切替]

[連続再生開始]について

- ● 連続再生を[i]で停止した場合、⦿を押すと、停止したｉモーションの先頭から連続再生が再開されます。
- ● 再生回数に制限のあるｉモーションや、再生期間の制限を超えたｉモーションは再生されません。確認メッセージが表示され、次のｉモーションが再生されます。
- ● ダウンロードの途中で保存したｉモーションは再生されません。次のｉモーションが再生されます。

■ 映像一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.371）を参照してください。

■ 連続再生　■ データ送信
■ ｉモーション・ムービー設定（表示切替、バックライト点灯時間）
■ 本体⇔microSD切替

[編集・情報表示]
- ▶[映像編集] ☞P.374
- ▶[モーションデコ] ☞P.373
- ▶[タイトル編集] ☞P.395
- ▶[ファイル名編集] ☞P.396
- ▶[作成者名編集]▶作成者名入力欄を選ぶ▶⦿▶作成者名を編集▶⦿▶[📷]
- ▶[コピーライト編集]▶コピーライト入力欄を選ぶ▶⦿▶コピーライトを編集▶⦿▶[📷]
- ▶[説明編集]▶説明入力欄を選ぶ▶⦿▶説明を編集▶⦿▶[📷]

次ページへ続く▶▶

▶[ファイル制限]▶設定を選ぶ▶◉
● 動画のFOMA端末外への出力を制限します。
▶[情報表示] ☞P.397
[削除] ☞P.397
[分類登録] ☞P.396
[音・映像設定] ☞P.374
[移動／コピー]
▶[フォルダ間移動] ☞P.396
▶[microSDへ移動] ☞P.389
▶[microSDへコピー] ☞P.388
▶[お預かりセンターに保存] ☞P.138
[ｉモーション・ムービー設定]
▶[ソート] ☞P.396
▶[レジューム再生設定]▶設定を選ぶ▶◉

[作成者名編集]、[コピーライト編集]、[説明編集]について
● 全角・半角問わず128文字まで入力できます。

[ファイル制限]について
● FOMA端末で撮影、または編集して作成したデータに設定できます。ただし、編集するデータによっては設定できないものもあります。

[レジューム再生設定]について
● FOMA端末に保存されたｉモーションには設定できません。
● [移行可能コンテンツ]フォルダのｉモーションには設定できません。
● レジューム再生を[ON]に設定すると、microSDカードに保存されたｉモーションの再生が着信などで中断されても、中断されたところから再生を再開することができます。

■ ｉモーション再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、映像一覧画面のサブメニュー操作（☞P.371）を参照してください。
■ 編集・情報表示　■ 音・映像設定
■ ｉモーション・ムービー設定（レジューム再生設定）

[メール／ブログ機能]
● 以降の操作については☞P.248「撮影後すぐに静止画または動画を送る」の操作１へ
[１件削除] ☞P.397
[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ▶◉
● [オリジナル]を選択したときは、項目設定して📷
[Bluetooth出力] ☞P.453
[移動／コピー]
▶[１件移動] ☞P.396
▶[microSDへ１件移動] ☞P.389
▶[microSDへ１件コピー] ☞P.388
▶[お預かりセンターに保存]
● 以降の操作については☞P.138「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作３へ
[チャプター一覧]▶チャプターを選ぶ▶◉
● チャプターを選択して再生します。
[ｉモーション・ムービー設定]
▶[リピート再生]
● 通常再生に戻す：同じ操作
▶[エフェクト設定]▶設定を選ぶ▶◉
▶[表示サイズ切替]▶設定を選ぶ▶◉
▶[ライトアップ]
▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶◉
● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。
▶[送り速度指定]▶設定を選ぶ▶◉
● 早送り／早戻しの速度を設定します。
▶[コマ送り幅指定]▶送り幅を選ぶ▶◉
▶[起動時画面モード設定]▶設定を選ぶ▶◉

▶［音声切替］▶設定を選ぶ▶◉
- ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画の音声を切り替えます。

［Dolby Mobile 設定］について
- Dolby Mobile 設定は、ステレオイヤホン使用時に有効です。

［リピート再生］について
- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。

［表示サイズ切替］について
- 表示されるサイズが「480未満×392未満」のときに、表示サイズを［拡大］に切り替えることができます。

［コマ送り幅指定］について
- 音声のみのｉモーションなど、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされるｉモーションがあります。

［起動時画面モード設定］について
- 通常ポジション／ビューアポジションで縦表示のときに設定が有効です。

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを送信する<ｉモーションメール>

動画をメールに添付して送信できます。また、ブログ／SNSに投稿することもできます。
- ファイルの添付については☞P.153

1 ノーマルメニューで［データBOX］▶［ｉモーション・ムービー］

2 ｉモーションを選ぶ▶✉

3 送信方法を選ぶ▶◉
- 送信方法については☞P.248「撮影後すぐに静止画または動画を送る」の操作１へ

4 メール作成・送信

動画／ｉモーションからデコメ®ピクチャを作成する<モーションデコ>

- 画像サイズが「QVGA：320×240」、「QCIF：176×144」のとき、モーションデコを使用できます。
- 動画を撮影して、デコメ®ピクチャやデコメ絵文字®を作成することもできます（☞P.255）。

1 ノーマルメニューで［データBOX］▶［ｉモーション・ムービー］

2 ｉモーションを選ぶ▶MENU▶［編集・情報表示］▶［モーションデコ］

3 種類を選ぶ▶◉
- デコメ®ピクチャを作成する場合、画像サイズが「QVGA：320×240」のときは、240×180ドットに縮小します。
- デコメ絵文字®を作成する場合、映像の中心から正方形になるように切り出し、20×20ドットに縮小します。

4 ［OK］
- タイトルの編集：［タイトル編集］▶タイトル入力欄を選ぶ▶◉▶タイトルを編集▶◉▶📷▶［OK］
  - 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
- 保存先の変更：［フォルダ変更］▶フォルダを選ぶ▶📷▶［OK］

- デコメ®ピクチャの場合、画像サイズが小さいほど、きれいな画像を作成できます。
- 長時間の動画の場合、変換後のファイルサイズの制限により、最後まで変換されないことがあります。
- SH-07B以外で撮影した動画は、編集できないことがあります。
- 作成したデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®はFOMA端末に保存されます。

動画／ｉモーションを待受画面などに設定する
<音･映像設定>

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション･ムービー]

2 ｉモーションを選ぶ▶MENU▶[音･映像設定]

3 項目を選ぶ▶◉

- 待受画面に設定するとき：[待受画面]▶[はい（等倍表示）]／[はい（拡大表示）]
  - ・画像サイズが「QCIF：176×144」以外のときは、拡大表示できません。
- メモリ指定電話着信音／メール着信音に設定するとき：[電話着信音設定]／[メール着信音･画面設定]▶[メモリ指定電話着信音]／[メモリ指定メール着信音]▶電話帳を選ぶ▶◉▶[OK]▶📷

- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のｉモーションは待受画面や着信音などに直接設定できますが、設定されたｉモーションは、FOMA端末のデータBOXのｉモーション･ムービーの[ｉモード]フォルダに移動されます。
- microSDカードからFOMA端末にコピーしたり、赤外線通信やｉC通信、ドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンや他のFOMA端末から転送した動画／ｉモーションは、電話帳の画像に設定できません。
- 音声のみのｉモーションやASF形式のｉモーションなど、待受画面に設定できないｉモーションがあります。

ブルーレイディスクレコーダーと連携する

ブルーレイディスクレコーダーに録画した動画をmicroSDカードに転送して、ｉモーションプレーヤーで再生できます。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続し、動画を転送します。USBモード設定を[microSDモード]に設定して接続してください。接続方法は、FOMA端末とパソコンなどを接続する方法と同様です（☞P.392）。動画を転送する操作方法はブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 転送した動画は、microSDカードのデータBOXのｉモーション･ムービーの[レコーダー連携]フォルダに保存され、最大99件表示できます。
- 動画を転送すると、microSDカードに保存できるビデオの件数は少なくなります。
- ブルーレイディスクレコーダーから新たに転送した動画がある場合は、ストックアイコン[ ]（新着レコーダー動画あり）が表示されます。
- 転送した動画の再生方法はｉモーションの再生方法と同様です（☞P.369）。ただし、一部操作できないものがあります。
  - ・ｉモーション再生画面の再生状態のマーク表示位置に[ ]が表示されます（画像サイズのマークは表示されません）。
- 市販のBluetooth機器を利用して、転送した動画の音声をBluetooth機器から再生できます。ただし、機種によっては再生できないことがあります（☞P.452）。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末を、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を使って接続するときは、待受画面を表示させておいてください。

映像編集

動画を編集する

撮影した動画を編集できます。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション･ムービー]

2 **動画を選ぶ▶MENU▶[編集・情報表示]▶[映像編集]**

- 映像編集画面下部にコマ割りのサムネイル画像が表示されます。
- 早送り／早戻し：◎（1秒以上）／◎（1秒以上）
- コマ送り／コマ戻し：◎
- ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ：1～9
- 編集した動画を再生：📷

映像編集画面

3 **動画を編集**

4 **MENU▶[保存]**

5 **[OK]**

- タイトルの編集：[タイトル編集]▶タイトル入力欄を選ぶ▶◉▶タイトルを編集▶◉▶📷▶[OK]
  - ・全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
- 保存先の変更：[フォルダ変更]▶フォルダを選ぶ▶📷▶[OK]
- 保存してメールに添付／ブログに投稿（☞P.248）：[✉／投稿]▶添付先を選ぶ▶◉▶メールを作成・送信

● SH-07B以外で撮影した動画は、編集できないことがあります。

■ 映像編集画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.45
- コントロールボタンで次の操作ができます。

プレビュー Preview	編集した動画を再生	◀II 長押 Hold ◁◁	コマ戻し※2
始点 Start	始点※1	II▶ 長押 Hold ▷▷	コマ送り※2
終了 End	終点※1		

※1　動画を切り取るときに表示されます。
※2　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。

● タッチ操作でコマ割りのサムネイル画像は選択できません。

■ 映像編集画面のサブメニュー操作

[静止画キャプチャ] ● 動画の一場面を、静止画として保存します。 ● 静止画の保存については☞P.367「静止画を編集する」の操作5へ	
[リサイズ]▶サイズを選ぶ▶◉	
[映像カッター]	☞P.375
[情報表示]	☞P.397
[保存]	☞P.374
[終了]▶[はい]	
[コマ送り幅指定]▶送り幅を選ぶ▶◉	

[静止画キャプチャ]について

● 保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。

[コマ送り幅指定]について

● 音声のみのｉモーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか（高速）]でコマ送りされるｉモーションがあります。
● 次の場合は、コマ送り幅が[大まか（高速）]になります。
  ■ 映像編集画面で、画像サイズが「QVGA：320×240」、「QCIF：176×144」、「SQCIF：128×96」以外のとき
  ■ 編集中のデータサイズが2Mバイトを超えるとき
● [細かい]に設定中は、コマ割りのサムネイル画像は表示されません。

動画を切り取る<映像カッター>

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

メール用（短）	指定した位置から約500Kバイトまでを自動的に切り取ります。
メール用（長）	指定した位置から約2Mバイトまでを自動的に切り取ります。
部分切り出し	始点と終点を指定して切り取ります。
前部分消去	指定した始点からファイルの最後までを切り取ります。
後部分消去	ファイルの最初から指定した終点までを切り取ります。

次ページへ続く▶▶

1 **映像編集画面で MENU ▶［映像カッター］**

2 **切り取り方法を選ぶ**

◆ **［メール用（短）］／［メール用（長）］／［前部分消去］▶始点を選ぶ▶ MENU ▶［確認］**
◆ **［部分切り出し］▶始点を選ぶ▶ MENU ▶終点を選ぶ▶ MENU ▶［確認］**
◆ **［後部分消去］▶終点を選ぶ▶ MENU ▶［確認］**

● 約3秒未満の動画は切り取りできません。
● FOMA端末に保存されている約2Mバイトを超える動画は、部分切り出し、前部分消去、後部分消去できません。
● 約500Kバイト以下の動画はメール用（短）、メール用（長）に切り出しできません。
● 動画を保存するまでは連続して切り取りはできません。
● コマ送り幅指定を［細かい］に設定している場合、［大まか（高速）］に設定している場合よりも切り取りに時間がかかることがあります。

ワンセグ

ワンセグを録画したビデオ・静止画を再生する

データBOXのワンセグに保存されたビデオや静止画を再生できます。ここでは、ビデオプレーヤーでのビデオの再生について説明します。

● 静止画表示中の操作については☞P.361
● 市販のBluetooth機器を接続すると、ビデオの音声をBluetooth機器から再生できます（☞P.452）。

1 **ノーマルメニューで［データBOX］▶［ワンセグ］**

• ［カメラ／TV／MUSIC］▶［ワンセグ］▶［録画した番組］でも操作できます。
• カンタン検索：✉

2 **［ビデオ］フォルダ▶ビデオを選ぶ▶ ◉**

• 静止画を表示するとき：［イメージ］フォルダ▶静止画を選ぶ▶ ◉

ビデオ再生画面

● 前回再生時に途中で終了したビデオの場合、続きから再生するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を選択すると停止した位置から再生できます。
● 他の機器などで編集（分割）されたビデオを再生すると、映像や音声が途切れることがあります。

ビデオ再生中のデータ放送表示について

● ビデオ再生時は、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送が表示されます。再生を終了すると一時停止になり、データ放送の閲覧を継続できます。ただし、再生終了時にデータ放送が表示されていない場合は、再生が停止します。
● ビデオ一時停止中やビデオ再生の速度が通常もしくは［▶x1.3］のとき以外は、データ放送が表示されません。ただし、データ放送サイトは表示されます。
● 早送り（［▶x1.3］のとき以外）や早戻し、再生開始位置のジャンプをすると、通常再生に戻ったときにデータ放送はトップページが表示されます。

■ ビデオ再生画面のボタン操作

一時停止／再生	📷
音量調節（音量0～25）※1	◎
ミュート／解除	✆
早戻し （◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀）※2	◎ ● ［◀◀◀◀］で早戻し：◎（1秒以上）

データ管理

早送り(▶x1.3、▶▶FF、▶▶▶FF、▶▶▶▶FF)※2	◎ ● ▶x1.3:通常の約1.3倍で再生 ● [▶▶▶▶FF]で早送り:◎(1秒以上)
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※3	1:先頭 2～9:総再生時間の約1/9ずつ先の位置
約10秒前の位置にバック	✱
約30秒先の位置にスキップ	#
操作切替	i
画面表示の切替	MAP
字幕設定ON／OFF	✓(1秒以上)
ビデオプレーヤー終了※4	⌒／CLR ▶[はい]

※1 ◎(1秒以上)で連続して音量を上げることができます。◎(1秒以上)で音量が0になります。
※2 ボタンを押すたびに、早送り／早戻しの速度が上がります。また、ボタンを押し続けると、押している間だけ早送り／早戻しをします。
※3 録画時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。
※4 ビューアポジションでは、Dを押します。

■ ビデオ再生画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.45
● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
◀◀ 長押し Hold ×2	早戻し※1	30秒スキップ 30Sec Skip	約30秒先の位置にスキップ
II	一時停止	ON／OFF 字幕 Subtitle	字幕設定ON／OFF
▶	再生※2	画面切替 ViewSW	画面表示の切替
▶▶ 長押し Hold ×2	早送り※1	データ操作/TV操作 Operation Data/TV	操作切替
10秒バック 10Sec Back	約10秒前の位置にバック		

※1 ロングタッチすると[◀◀◀REW]／[▶▶▶FF]に速度が上がり、早戻し／早送り中にタッチすると段階的に速度が上がります。
※2 一時停止中に表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

音量バーを表示※1	タッチ※2／上下にすばやくスライド

※1 音量バーを上下にスライドして音量を調節します。Bluetooth出力中は表示されません。
※2 コントロールボタンも同時に表示されます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダセキュリティ]	☞P.395
[表示切替]	☞P.361
[メモリ確認]	☞P.399
[本体⇔microSD切替]	

■ 画像一覧画面のサブメニュー操作

● 画像一覧画面のサブメニュー操作は、マイピクチャの画像一覧画面のサブメニュー操作(☞P.363)を参照してください。

■ ビデオ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.395
▶[情報表示]	☞P.397
[削除]	☞P.397
[分類登録]	☞P.396
[microSDへ移動]	☞P.389
[microSDへコピー]	☞P.388
[ワンセグデータ設定]	
▶[表示切替]	☞P.361
▶[ソート]	☞P.396
[本体⇔microSD切替]	

■ 画像表示画面のサブメニュー操作

● 画像表示画面のサブメニュー操作は、マイピクチャの画像表示画面のサブメニュー操作(☞P.364)を参照してください。

■ ビデオ再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、ワンセグ視聴画面のサブメニュー操作（☞P.264）を参照してください。

■ 番組詳細情報　■ データ放送
■ 動作設定（画質設定、画面設定、音声設定、クローズ動作設定、Dolby Mobile設定）
■ 操作切替　■ Bluetooth出力　■ キー操作一覧

[再生終了]

[スキップ]

▶[スキップ送り（30秒）]

▶[スキップ戻し（10秒）]

▶[始めから再生]

▶[再生開始位置指定]▶再生開始位置（時間：分：秒）を入力▶[カメラ]
● [方向キー]で時間を指定することもできます。

[前のコンテンツ]

[次のコンテンツ]

[動作設定]

▶[再生設定]　☞P.378

ワンセグ再生の設定を行う<再生設定>

● オートスキップを[ON]に設定すると、録画時に放送電波圏外だった箇所をスキップして再生します。

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[ワンセグ]▶[ユーザ設定]▶[再生設定]

2 各項目を設定▶[カメラ]

キャラ電プレーヤー

キャラ電を再生する

キャラ電は、テレビ電話利用時にカメラ映像の代わりに送信できるキャラクタです。キャラクタには、さまざまなアクションをさせることができます。

● キャラ電のダウンロードについては☞P.202

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[キャラ電]

• カンタン検索：[メール]

2 キャラ電を選ぶ▶◉

キャラ電再生画面

マークの意味

	全体アクションモード
	パーツアクションモード

● キャラ電操作中は、ボタンを押しても音は鳴りません。
● キャラ電によっては、自動でアクションするものや、アクションをしないものがあります。

■ キャラ電再生画面のボタン操作

アクションモードの切替	[カメラ]
アクションリストの表示	[メール] ● 実行：アクションを選ぶ▶◉ ● 詳細の表示：アクションを選ぶ▶MENU
等倍／拡大の切替	[i]
テレビ電話代替画像に設定	◉
アクション操作※	1～9、#
アクション中止	0

※ アクションリストの番号に対応したアクションを実行します。

データ管理

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.394
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.395
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.395

[削除] ☞P.395

[キャラ電表示設定]
- ▶[表示切替] ☞P.361
- ▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶◉
  - 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

[メモリ確認] ☞P.399

■ キャラ電一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
- ▶[タイトル編集] ☞P.395
- ▶[情報表示] ☞P.397

[削除] ☞P.397

[分類登録] ☞P.396

[テレビ電話代替画像]
- テレビ電話代替画像に設定します。

[フォルダ間移動] ☞P.396

[テレビ電話番号入力]▶電話番号を入力▶[i]
- 電話帳の表示:電話番号入力画面で[📷]

[キャラ電表示設定]
- ▶[表示切替] ☞P.361
- ▶[ソート] ☞P.396
- ▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶◉
  - 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

■ キャラ電再生画面のサブメニュー操作

[アクション一覧] ☞P.83

[アクション切替] ☞P.83

[タイトル編集] ☞P.395

[1件削除] ☞P.397

[情報表示] ☞P.397

[テレビ電話番号入力]▶電話番号を入力▶[i]
- 電話帳の表示:電話番号入力画面で[📷]

[キャラ電切替] ☞P.83

[テレビ電話代替画像]
- テレビ電話代替画像に設定します。

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶◉
- 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

マチキャラ

マチキャラを表示する

- マチキャラの設定については☞P.116

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マチキャラ]

2 マチキャラを選ぶ▶◉

- ダウンロードの途中で保存したマチキャラを選ぶと、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.394
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.395
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.395

[削除] ☞P.395

[表示切替]	☞P.361
[microSDへ移動]	☞P.389
[メモリ確認]	☞P.399
[本体⇔microSD切替]	

■ マチキャラ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.395
▶[情報表示]	☞P.397
[削除]	☞P.397
[分類登録]	☞P.396
[マチキャラ設定]	☞P.380
[移動]	
▶[フォルダ間移動]	☞P.396
▶[microSDへ移動]	☞P.389
[マチキャラ表示設定]	
▶[表示切替]	☞P.361
▶[ソート]	☞P.396
[一括情報リセット]▶[はい] ● マチキャラの設定経過時間や積算通話時間、受信／送信メール数などの情報をリセットします。	
[本体⇔microSD切替]	

データBOXからマチキャラを設定する <マチキャラ設定>

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マチキャラ]

2 マチキャラを選ぶ▶MENU▶[マチキャラ設定]

- マチキャラを選んで📷を押しても操作できます。

3 設定を選ぶ▶●

● microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のマチキャラは、直接設定することはできません。FOMA端末に移動してから設定してください。

メロディプレーヤー

メロディを再生する

データBOXのメロディに保存されたメロディを再生できます。

● バイブレータが動作するように作成されたメロディのとき、メロディと連動してバイブレータが振動します。連動していないメロディのときは、パターンAで振動します。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]

- カンタン検索:✉

2 メロディを選ぶ▶●

- 停止:●

メロディ再生画面

● メロディによっては、再生できないものがあります。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]	
▶[フォルダ新規作成]	☞P.394
▶[フォルダ名編集]	☞P.395
▶[フォルダセキュリティ]	☞P.395
[削除]	☞P.395
[microSDへ移動]	☞P.389
[microSDへ全件コピー]	☞P.387
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.402
▶[ｉC送信]	☞P.404

[メロディ設定]	
▶[表示切替]	☞P.361
▶[音量設定]▶Ⓞで音量を調節▶◉	
▶[連続再生]	☞P.382
[メモリ確認]	☞P.399
[本体⇔microSD切替]	

■ メロディ一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.380)を参照してください。

■ データ送信　■ メロディ設定(表示切替、音量設定)
■ 本体⇔microSD切替

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.395
▶[ファイル名編集]	☞P.396
▶[情報表示]	☞P.397
[削除]	☞P.397
[分類登録]	☞P.396
[音設定]	☞P.382
[移動/コピー]	
▶[フォルダ間移動]	☞P.396
▶[microSDへ移動]	☞P.389
▶[microSDへコピー]	☞P.388
▶[お預かりセンターに保存]	☞P.138
[メロディ設定]	
▶[開始位置選択]▶再生部分を選ぶ▶◉	
▶[ソート]	☞P.396

[開始位置選択]について

● ポイント再生で再生される部分はあらじめ指定されています。また[ポイント再生]に設定しても、開始位置が指定されていないメロディのときはフルコーラス再生されます。

■ メロディ再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、メロディ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.381)を参照してください。

■ 編集・情報表示　■ 音設定　■ データ送信

[1件削除]	☞P.397
[移動/コピー]	
▶[1件移動]	☞P.396
▶[microSDへ1件移動]	☞P.389
▶[microSDへ1件コピー]	☞P.388
▶[お預かりセンターに保存] ● 以降の操作については☞P.138「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作3へ	
[メロディ設定]	
▶[イコライザ設定]▶種類を選ぶ▶◉	
▶[ステレオ効果設定(イヤホン)]	☞P.381

3Dサウンド/サラウンドを設定する
<ステレオ効果設定(イヤホン)>

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]**

2 **メロディを選ぶ▶◉**

3 **MENU▶[メロディ設定]▶[ステレオ効果設定(イヤホン)]**

- 📷を押しても操作できます。

4 **効果を選ぶ▶◉**

メロディを連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のメロディを連続して再生できます。

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]**

2 **フォルダを選ぶ▶MENU▶[メロディ設定]▶[連続再生]**

- 次のメロディを再生:◎
- メロディの先頭に戻る:◎
- 前のメロディを再生:メロディの先頭で◎

メロディを添付してｉモードメールを送信する

● ファイルの添付については☞P.153

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]**

2 **メロディを選ぶ▶✉**

3 **メールを作成・送信**

● 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種のときは、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。

● 次のメロディには、一部ｉモードメールに添付できないものがあります。
- ■ ファイル形式がMFiのメロディ
- ■ メールに添付されたメロディ
- ■ ｉモードからダウンロードしたメロディ
- ■ ｉアプリから取得したファイル形式がSMFのメロディで、ファイル制限ありのもの

メロディを着信音などに設定する<音設定>

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]**

2 **メロディを選ぶ▶MENU▶[音設定]**

- メロディを選んでiを押しても操作できます。

3 **項目を選ぶ▶◉**

microSDカードについて

FOMA端末内の電話帳やメール、Bookmarkなどのデータをmicro SDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末に取り込むことができます。
microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
microSDカードおよびmicroSDカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

● SH-07Bでは市販の2Gバイトまでのmicro SDカード、16Gバイトまでのmicro SDHCカードに対応しています（2010年4月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
- ■ ｉモードから[SH-MODE]（2010年4月現在）
  [ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[ケータイ電話メーカー]▶[SH-MODE]
- ■ パソコンから
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-07b/

サイト接続用QRコード

なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

● FOMA端末の電源を入れたままの状態でmicroSDカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。

● 利用できるファイルのサイズは、1ファイル2Gバイトまでです。

● ワンセグの録画サイズは、1ファイル2Gバイトまでです。

● サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、ｉモーション、メロディ、着うたフル®、きせかえツール、電子書籍／電子辞書／電子コミック、マチキャラ、画面メモ、ビデオ、Music&Videoチャネルで配信された番組をmicroSDカードに移動できます。ただし、IP（情報サービス提供者）が許可していないときは保存できません。

- FOMA端末にmicroSDカードを挿入した直後(FOMA端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に、microSDカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、FOMA端末で初期化する必要があります(☞P.392)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、FOMA端末では正常に使用できないことがあります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで初期化したmicroSDカードを使うときは、表示されるフォルダ名が異なることがあります。
- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できないことがあります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたmicroSDカードを挿入したときは、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。FOMA端末は、閉じた状態で両手でしっかり持ってください。

- 電池パックの取り付け／取り外し方法については☞P.52

■ microSDカードを挿入する

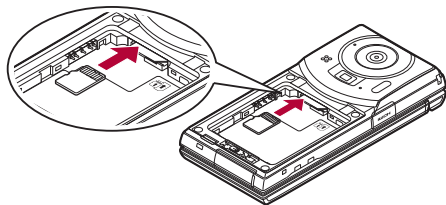
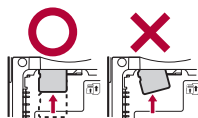
- microSDカードを挿入すると次のマークが表示されます。

マークの意味

	microSDカードを挿入中かつ使用可で、USBモード設定を通信モードに設定中
	microSDカードを挿入中かつ使用不可で、USBモード設定を通信モードに設定中

・[]が表示された場合は、microSDカードを再度挿入してください。それでも[]が表示されるときは、FOMA端末でmicroSDカードを初期化してください。

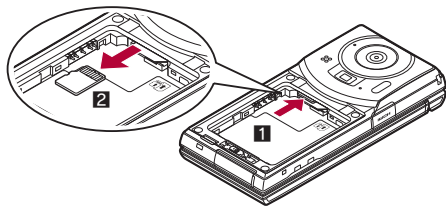
1 microSDカードの金属端子面を上に向けてゆっくりと挿入する

- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。
- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

■ microSDカードを取り外す

1 microSDカードを軽く押し込む(1)

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

2 microSDカードを取り外す(2)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。

● microSDカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとmicroSDカードが飛び出し危険です。

microSDカードのフォルダ構成

microSDカード内のフォルダ構成と、各フォルダに格納されるデータのファイル名などは次のとおりです。

- パソコンなどからmicroSDカードにデータを書き込むときも、次のフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。
- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。
  - ■ aaaaaa：2バイト文字を含む64文字以下
    - ・¥(円記号)、/(スラッシュ)、:(コロン)、*(アスタリスク)、?(クエスチョンマーク)、"(ツーダッシュ)、<(中括弧)、>(中括弧)、|(垂直バー)を除く
  - ■ bbb：100～999の3桁の半角数字(000～099に変更しても認識されません)
  - ■ cccc：0001～9999の4桁の半角数字
  - ■ ddddd：00001～65535の5桁の半角数字
  - ■ eee：001～FFFの3文字の半角英数字(16進数)
  - ■ fff：001～999の3桁の半角数字
  - ■ gggggg：2バイト文字を含め60バイト以下(拡張子を除く)
  - ■ hhh：3文字以内の半角英数字
  - ■ jjjjjjjj：半角英数字、_(アンダーバー)で8バイト以下(拡張子を除く)
  - ■ kkkkkk：2バイト文字を含め228文字以下(拡張子を除く)
  - ■ mmmmmm：2バイト文字を含め60文字以下(拡張子を除く)
  - ■ xxyyzznn：半角数字で、xxは年、yyは月、zzは日、nnは00～99

- DCIM ………… 静止画フォルダ
  - bbbSHARP ………… 撮影静止画用フォルダ
    DVC0cccc.JPG／GIF
- SD_PIM ………… PIMデータ用フォルダ(電話帳、スケジュール、メール、メモ帳、Bookmark)
  PIMddddd.VCF／VCS／VMG／VNT／VBM
- SD_VIDEO ………… 動画フォルダ
  - PRLeee ………… 撮影動画用フォルダ
    MOLeee.MP4／ASF／3GP／SDV
  - MGR_INFO ………… ビデオ管理情報用フォルダ
  - PRGeee ………… ビデオ、ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画用フォルダ
    PRGeee.PGI
    MOVeee.TOD／SB1／S41／MAI／MOI
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - DOCUMENT
      - PUDfff ………… PDF対応ビューアフォルダ
        gggggg.PDF／$DF／DDF
        PDFDCfff.PDF／$DF／DDF
    - MMFILE ………… ボイスメモ、iモーション(AAC形式の音楽データを含む※1)、WMAファイル用フォルダ
      - MUDfff
        MMFcccc.MP4／ASF／3GP／SDV／M4A
    - RINGER ………… メロディファイル用フォルダ
      - RUDfff
        RINGcccc.MLD／SMF／MID
    - STILL ………… その他画像ファイル用フォルダ
      - SUDfff
        STILcccc.JPG／GIF／SWF
    - TORUCA ………… トルカフォルダ
      - TRCfff
        TORUCfff.TRC
    - LCSCLIENT ………… 現在地通知先ファイル用フォルダ
      - LSCfff
        LSCDCfff.LSC
    - DECOIMG ………… デコメ絵文字®用フォルダ
      - DUDfff
        DIMGcccc.JPG／GIF

DEVPROF ブルーレイディスクレコーダーから転送される動画の再生能力通知用フォルダ
PF0804.PRF

※1 格納できるデータの種類については☞P.369
※2 ユーザフォルダ名とファイル名（拡張子を除く）合わせて228バイト以下
※3 [TABLE]フォルダの下には[DCIM]、[MMFILE]、[RINGER]、[LCSCLIENT]、[STILL]、[SD_VIDEO]、[DOCUMENT]、[TORUCA]、[DECOIMG]、[OTHER]、[DECO_A_T]それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。
※4 ASFのファイル形式については、i モーションとムービーの2種類があります。
- ｉモーションのファイル形式については☞P.369
- ムービーのファイル形式については☞P.214

※5 移行可能コンテンツ、i アプリデータ、着うたフル®、電子コミック、Music&Videoチャネル、画面メモから取得した番組をmicroSDカードに保存した際、[SVC00001]から順にフォルダが作成されます。
※6 次の場合は、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを参照できなくなることがあります。そのときは、microSDカードをSH-07Bで初期化（☞P.392）することをおすすめします。なお、microSDカードを初期化すると、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内（[SD_BIND]フォルダ内）のデータをパソコンで削除・移動・編集したとき
- データを移動・削除・保存中にmicroSDカードや電池パックを抜いたりしたとき

- パソコンでmicroSDカードにデータを保存しようとしたときに該当するフォルダがないときは、フォルダ構成に従ってフォルダを作成してからデータを保存してください。
- GIFアニメーションファイルは[STILL]フォルダに入り、それ以外のGIFファイル（デコメ絵文字®を除く）は[DCIM]フォルダに入ります。
- Flash画像は[STILL]フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でmicroSDカードのデータを正しく表示できなくなります。

次ページへ続く

- FOMA SH901iSより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存しているときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDカードの管理情報を更新してください。
- FOMA SH902i以前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥VOICEフォルダに音のみのｉモーション（AAC形式の音楽データを含む）を保存しているときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILE¥MUDxxxフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDカードの管理情報を更新してください。
- SH-01Aより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥BOOKフォルダに電子書籍などを保存しているときは、マンガ・ブックリーダーの表示フォルダ切替で[マンガ・ブックリーダー２]を選択すると表示できます。

■ microSDカードの保存件数

- 保存するデータの大きさや、microSDカードの容量によっては、件数が少なくなることがあります。

機　能	件　数
電話帳、スケジュール、メモ帳、Bookmark、ｉモードメール／SMS／エリアメール	合わせて最大65535件
静止画	999フォルダ※1／１フォルダ最大1000件
ｉモーション	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
画面メモ	最大1000件
Music&Videoチャネル	最大999件※2
メロディ	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
PDF	999フォルダ／１フォルダ最大999件
きせかえツール	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
マチキャラ	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
トルカ	999フォルダ／１フォルダ最大999件
現在地通知先	999フォルダ／１フォルダ最大999件
デコメアニメ®テンプレート	最大400件

※１　カメラフォルダ（静止画）の最大作成可能件数は900件です。
※２　フォルダを合わせた件数です。

- ワンセグの保存件数については☞P.267
- ミュージックプレーヤーの保存件数については☞P.282

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータをコピーする

FOMA端末からmicroSDカード、microSDカードからFOMA端末にデータをコピーします。

- コピーできるのは次のデータです。
  - ■ 電話帳　■ スケジュール　■ メモ帳
  - ■ Bookmark　■ ｉモードメール／SMS／エリアメール
  - ■ 画像　■ ｉモーション　■ メロディ
  - ■ PDF　■ トルカ
  - ■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック　■ 現在地通知先
  - ■ デコメアニメ®テンプレート
  - ■ ビデオ（FOMA端末→microSDカードのみ）

- microSDカードにデータをコピーすると、管理情報もmicroSDカードに書き込まれます。
- ファイル制限のあるデータはmicroSDカードにコピーできません。
- データのサイズやmicroSDカードのメモリ使用状況によっては、microSDカードにコピーできないことがあります。
- メロディは100Kバイト、Flash画像は500Kバイト、JPEG画像は10Mバイト、GIF画像は２Mバイト、PDFデータは２Mバイト、ｉモーションは10MバイトまでFOMA端末にコピーできます。

電話帳について

- microSDカードにコピーすると、名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。

- 次の情報はmicroSDカードにコピーされません。
  - ■ メモリ番号　■ グループ設定　■ シークレット属性設定
  - ■ シークレットコード　■ 着信音　■ 着信バイブレータ
  - ■ 着信イルミネーションパターン
  - ■ 着信イルミネーションカラー
  - ■ テレビ電話代替画像　■ 電話帳2in1設定
  - ■ <画像選択・撮影>欄に設定したｉモーション
- 名前が未登録のデータがFOMA端末にコピーされたときは[No Name]と表示されます。

スケジュールについて

- 次の情報はmicroSDカードにコピーされません。
  - ■ アラーム時刻以外のアラーム情報　■ 画像設定
  - ■ 連絡先　■ シークレット属性設定　■ 視聴予約、録画予約
  - ■ 祝日設定　■ 誕生日データ
- 終了日時が入力されていないデータをmicroSDカードにコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。
- FOMA端末にコピーする場合、同じデータを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]／[いいえ]を選択します。

Bookmarkについて

- フォルダ情報はmicroSDカードにコピーされません。

メールについて

- 1件あたり最大100Kバイトを超えるメールは、添付ファイルが削除されてmicroSDカードにコピーされます。
- フォルダ情報はmicroSDカードにコピーされません。
- microSDカードにコピーしたメールは保護設定できません。

画像について

- JPEG画像をmicroSDカードにコピーすると、画像のファイルサイズが変わることがあります。このとき、microSDカード側で表示されるサイズが実際のファイルサイズになります。
- フレーム画像はmicroSDカードにコピーされません。

ｉモーションについて

- 「QVGA：320×240」以下の動画のみ、選択コピーと全件コピーできます。

PDFについて

- PDFデータは2MバイトまでmicroSDカードにコピーできます。
- ダウンロードに失敗したPDFデータはmicroSDカードにコピーできないことがあります。

トルカについて

- microSDカードにコピーする場合、ファイル制限のある画像を含むトルカは詳細を除いてコピーする旨のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[確認]を選択します。

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

- ビューアポジションで横表示のときはコピーできません。縦表示に切り替えてからコピーしてください。

現在地通知先について

- FOMA端末に同じ電話番号の現在地通知先が存在する場合、microSDカードからFOMA端末へ追加コピーできません。
- SH-07BでmicroSDカードに全件コピーした現在地通知先は、SH-01Bより前に発売された機種では表示することができません。SH-07BでmicroSDカードにコピーした現在地通知先をSH-01Bより前に発売された機種で表示するには、1件コピーしてください。

ビデオについて

- ダビング10に対応している番組のビデオは9回目までmicroSDカードにコピーできます。10回目は移動されます。

フォルダ一覧画面でデータをコピーする

<microSDへ全件コピー／本体へ全件コピー>

例：ｉモーションのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション・ムービー](▶[→microSD])※

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 MENU▶[microSDへ全件コピー]／[本体へ全件コピー]▶端末暗証番号を入力▶◉

3 コピー先フォルダを選ぶ▶📷▶[はい]

データ一覧画面でデータをコピーする <microSDへコピー／本体へコピー>

例：ｉモーションのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション･ムービー]（▶[→microSD]）※

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 ｉモーションを選ぶ▶MENU▶[移動／コピー]▶[microSDへコピー]／[本体へコピー]

3 コピー方法を選ぶ

- ◆ [１件コピー]▶コピー先フォルダを選ぶ▶📷
- ◆ [選択コピー]▶ｉモーションを選ぶ▶⦿▶📷▶コピー先フォルダを選ぶ▶📷▶[はい]
- ◆ [フォルダ内全件コピー]▶端末暗証番号を入力▶⦿▶コピー先フォルダを選ぶ▶📷▶[はい]

内容表示画面でデータをコピーする <microSDへ１件コピー／本体へ１件コピー>

例：ｉモーションのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション･ムービー]（▶[→microSD]）※

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 ｉモーションを選ぶ▶⦿▶MENU▶[移動／コピー]▶[microSDへ１件コピー]／[本体へ１件コピー]

3 コピー先フォルダを選ぶ▶📷

コンテンツ移行対応

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータを移動する

サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータを、FOMA端末とmicroSDカードの間で移動できます。また、録画したビデオをmicroSDカードに移動することができます。

- 移動できるのは次のデータです。
  - ■ 画像　■ ｉモーション　■ メロディ
  - ■ 着うたフル®　■ きせかえツール　■ マチキャラ
  - ■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック　■ Music&Videoチャネル
  - ■ 画面メモ　■ ビデオ（FOMA端末→microSDカードのみ）※

  ※ データによっては、microSDカードに９回目までコピーされ、10回目には移動されます。コピー方法については☞P.388
- 移動の可否やビデオの残りのコピー回数についてはデータの[情報表示]から確認できます（☞P.397）。

- microSDカードに移動したデータをFOMA端末へ移動できるのは、次の場合です。
  - ■ データの詳細情報でFOMA端末への移動が[可]の場合に、データ取得時と同じFOMAカードを挿入しているとき
  - ■ データの詳細情報でFOMA端末への移動が[可（同一機種間）]の場合に、データ取得時と同じ機種に同じFOMAカードを挿入しているとき

ｉモーションについて

- 着信音設定、着信画像設定が[可]のｉモーションをmicroSDカードへ移動したあと、再びデータBOXのｉモーション･ムービーの[外部取得データ]フォルダへ移動した場合、着信音設定、着信画像設定は[不可]に変更されます。待受画面設定は[可]のままです。
- 「QVGA：320×240」以下の動画のみ、選択移動と全件移動できます。

着うたフル®について

- ファイル種別から[ｉモード（本体）]または[ｉモード（microSD）]を選択しているときのみ、選択移動と全件移動できます。
- プレイリストに登録している着うたフル®を移動すると、プレイリストから再生できなくなります。

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

- ビューアポジションで横表示のときは移動できません。縦表示に切り替えてから移動してください。

フォルダ一覧画面でデータを移動する
<microSDへ移動／本体へ移動>

例：i モーションのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[i モーション･ムービー]（▶[→microSD]）※
※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 MENU▶[microSDへ移動]／[本体へ移動]

3 [全件移動]▶端末暗証番号を入力▶◉▶[はい]
- コンテンツ移行対応データの移動先フォルダを指定するとき：[移動先選択]▶移動先フォルダを選ぶ▶📷

4 移動先フォルダを選ぶ▶📷▶[はい]

例：PDFのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイドキュメント]（▶[→microSD]）※
※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 MENU▶[microSDへ全件移動]／[本体へ全件移動]▶端末暗証番号を入力▶◉▶[はい]

3 移動先フォルダを選ぶ▶📷

データ一覧画面でデータを移動する
<microSDへ移動／本体へ移動>

例：i モーションのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[i モーション･ムービー]（▶[→microSD]）※
※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 i モーションを選ぶ▶MENU▶[移動／コピー]▶[microSDへ移動]／[本体へ移動]

3 移動方法を選ぶ
- ◆ [1件移動]▶移動先フォルダを選ぶ▶📷
- ◆ [選択移動]▶i モーションを選ぶ▶◉▶📷▶[はい]▶移動先フォルダを選ぶ▶📷
- ◆ [フォルダ内全件移動]▶端末暗証番号を入力▶◉▶[はい]▶移動先フォルダを選ぶ▶📷▶[はい]
- コンテンツ移行対応データの移動先フォルダを指定するとき：[移動先選択]▶移動先フォルダを選ぶ▶📷
- コンテンツ移行対応データのみを選択した場合は、フォルダを選ぶ必要はありません。

内容表示画面でデータを移動する
<microSDへ1件移動／本体へ1件移動>

例：i モーションのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[i モーション･ムービー]（▶[→microSD]）※
※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 i モーションを選ぶ▶◉▶MENU▶[移動／コピー]▶[microSDへ1件移動]／[本体へ1件移動]
- コンテンツ移行対応データのときは、操作完了となります。

3 移動先フォルダを選ぶ▶📷

バックアップ／復元

FOMA端末のデータを一括してバックアップ／復元する

電話帳、メールなどのデータと各種設定情報が、一括してバックアップ／復元されます。

- 次のデータがバックアップ／復元されます。
  - ■ 電話帳　■ メール　■ スケジュール
  - ■ Bookmark　■ メモ帳

次ページへ続く

- 次の設定がバックアップ／復元されます。
  - ■ メールの振分け条件設定※
  - ■ 署名編集設定
  - ■ 受信表示設定
  - ■ メール受信添付ファイル設定
  - ■ 緊急速報「エリアメール」設定
  - ■ メール送受信履歴
  - ■ メモリ別着信許可
  - ■ 着信拒否設定
  - ■ 伝言メモの応答時間
  - ■ ユーザ辞書
  - ■ アラーム
  - ■ メール表示画面の文字サイズ設定
  - ■ メール選択受信設定
  - ■ メッセージ自動表示設定
  - ■ 添付ファイル自動再生設定
  - ■ メール／メッセージ問合せ設定
  - ■ メモリ登録外着信拒否
  - ■ メモリ別着信拒否
  - ■ 伝言メモ設定
  - ■ リダイヤル／着信履歴
  - ■ 学習された文字変換候補

  ※ バックアップされる振分け条件は、アドレス（差出人）、グループ、題名です。

FOMA端末→microSDカードに一括してバックアップする<microSDへバックアップ>

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［microSD］▶［バックアップ／復元］▶［microSDへバックアップ］

2 端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］

- バックアップデータは前回のデータに上書き保存されます。
- バックアップの対象となるデータがFOMA端末に保存されていない場合は、バックアップを実行できません。
- バックアップを中止した場合は復元できません。再度バックアップをやり直してください。
- microSDカードの空き容量が不足している場合は、一部のデータがバックアップされません。不要なデータを削除して空き容量を増やすか、空き容量が十分あるmicroSDカードを挿入してからバックアップをやり直してください。
- バックアップ中は他の機能を起動できません。
- バックアップには時間がかかることがあります。
- メールやBookmarkは、フォルダ情報もバックアップされます。

電話帳について

- 電話帳をバックアップするときは、プロフィールの保存確認画面が表示されます。
- 名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 電話帳2in1設定もバックアップされます。
- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ シークレットコード　■ 着信音　■ 着信バイブレータ
  - ■ 着信イルミネーションパターン
  - ■ 着信イルミネーションカラー
  - ■ テレビ電話代替画像　■ FOMAカード内の電話帳
  - ■ グループ名以外のグループ設定
  - ■ 再配布不可の画像ファイル

スケジュールについて

- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ アラーム時刻以外のアラーム情報　■ 画像設定　■ 連絡先
  - ■ 視聴予約、録画予約　■ 祝日設定　■ 誕生日データ
- 終了日時が入力されていないデータをバックアップすると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて

- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ ｉアプリTo　■ 再配布不可の添付ファイル
  - ■ FOMAカード内のSMS　■ Bアドレス設定の署名
  - ■ フォルダシークレット

microSDカード→FOMA端末に一括バックアップデータを読み込む<本体へ復元>

- 復元すると、電話帳、メール、スケジュール、Bookmark、メモ帳のすべてのデータと設定情報が、バックアップデータにより上書きされます。

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［microSD］▶［バックアップ／復元］▶［本体へ復元］

2 端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］

- 復元を実行すると、セルフモード（☞P.129）になります。セルフモード中は電話着信やメール受信などが利用できません。

- バックアップデータがmicroSDカードに保存されていない場合は、復元を実行できません。
- 本FOMA端末以外で復元すると、バックアップされたデータや設定情報が復元されない場合があります。
- 復元を中止した場合は、一部のデータが復元されません。再度復元をやり直してください。
- FOMA端末のメモリの空き容量が不足している場合は、一部のデータが復元されません。
- データが存在しない状態でバックアップされた機能は、復元するとバックアップ後に保存したデータがすべて削除されます。
- 復元中は他の機能を起動できません。

電話帳について
- ＜画像選択・撮影＞欄に設定した画像も復元されます。ただし、ｉモーションは、復元されません。

メールについて
- メールは、転送に時間がかかることがあります。

設定情報について
- 設定情報を復元した場合は設定情報の結果が表示されます。

一括バックアップデータを確認する
＜バックアップデータ参照＞

1 **ノーマルメニューで［便利ツール］▶［microSD］▶［バックアップ／復元］▶［バックアップデータ参照］**

2 **データ種別を選ぶ▶◉**

3 **バックアップデータを選ぶ▶◉**

- バックアップされた設定情報の確認や、FOMA端末へのコピーはできません。

Bookmarkについて
- ｉモードのBookmarkには［ ］、フルブラウザのBookmarkには［ ］が表示されます。

一括バックアップデータを削除する
＜バックアップデータ削除＞

1 **ノーマルメニューで［便利ツール］▶［microSD］▶［バックアップ／復元］▶［バックアップデータ削除］**

2 **端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］**

個別バックアップ／復元

FOMA端末のデータをデータ種別ごとにバックアップ／復元する

ユーザ辞書を個別にバックアップ／復元できます。

1 **ノーマルメニューで［便利ツール］▶［microSD］▶［個別バックアップ／復元］**

2 **［ユーザ辞書］▶［バックアップ］／［復元］**

- 電池残量が少ないときはバックアップできません。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。

microSD

microSDカードのデータをプレビューする

1 **ノーマルメニューで［便利ツール］▶［microSD］**

2 **データを選ぶ▶◉**

- microSDデータ詳細画面やmicroSDデータ一覧画面のサブメニューから、FOMA端末へコピーなどの操作ができます。

microSDカードの管理について

microSDカードに保存されているデータを管理するために、初期化や管理情報の更新などができます。

microSDカードの使用状況を確認する

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶MENU

- 表示される単位の切替：✉

microSDカードを初期化する

- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶📷

2 端末暗証番号を入力▶◉▶[はい]

- 電池残量が少ないときは初期化できません。
- 実行中はmicroSDカードを抜かないでください。
- 初期化を中止すると、microSDカードがFOMA端末やパソコンなどで認識されなくなります。認識されなくなったときは、初期化をやり直してください。
- microSDカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため、初期化できないことがあります。microSDカードを挿入し直すとご使用いただけることもありますが、そのmicroSDカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。
- microSDカードの製造メーカや容量などについては☞P.382

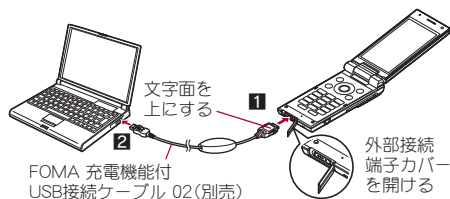
microSDリーダーライターとして使う

FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)でパソコンに接続して利用するときのモードには、複数のモードがあります。microSDリーダーライターとして使う場合は、[microSDモード]で接続してください。

通信モード	パケット通信、64Kデータ通信、データの送受信(OBEX™通信)をするときのモードです(☞P.496)。
microSDモード	microSDカードのデータを読み込み／書き込みするときのモードです。
MTPモード	Windows Media Player 11／12を利用してmicroSDカードに音楽データを転送するときのモードです。登録方法については☞P.283

- 通信モード動作中は、USBモード設定の変更はできません。

1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む(1)

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む(2)

3 待受画面で◉▶[USB]を選ぶ▶◉

4 [microSDモード]▶[はい]

データ管理

■ 利用するモードを設定する<USBモード>

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を接続して利用するモードを、あらかじめ設定しておくことができます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[外部接続]▶[USBモード]

2 モードを選ぶ▶⦿

3 [はい]

- FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして利用するには、次の機器が必要です。

項　目	説　明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02が使用できるUSBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1／2.0準拠)が使用可能なパソコン
対応OS	Windows XP、Windows Vista、Windows 7(いずれも日本語版)

- パソコンに、新しいハードウェアを検索する旨の画面が表示された場合は[キャンセル]をクリックしてください。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていないときは、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。パソコンの電源についても確認してください。
- microSDモードへの切り替え中やmicroSDモード中はmicroSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDカードの管理情報を更新する

microSDカードを他の機器で利用したときは、microSDカードの管理情報を更新する必要があります。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶✉

2 項目を選ぶ▶⦿▶📷▶[はい]

- 電池残量が少ないときは管理情報を更新できません。
- microSDカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できないことがあります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、microSDカードが正しく動作しないことがあります。
- microSDカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 更新中はmicroSDカードを抜かないでください。
- 更新中に次の機能はご利用になれません。
  - ■ｉアプリ ■静止画・動画撮影 ■バーコードリーダー
  - ■ドキュメントビューア ■赤外線受信
  - ■microSDカードのメモリ確認
  - ■各機能からのmicroSDデータ参照

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンで作成したデータなどをmicroSDカードのインポートフォルダに置くと、FOMA端末で確認できます。

- [ミュージック]を選択した場合は、microSDカードの[SD_BIND]フォルダ内の着うたフル®が表示されます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶[インポート]

2 データを選ぶ▶⦿

- 通常のデータ操作と同様に、サブメニューからデータの削除、コピーまたは移動、情報表示などが利用できます。
- 横4076×縦4076ドットを超えるJPEG画像、横2048×縦2048ドットを超えるGIF画像は表示できないことがあります。その場合は、サムネイル画像を表示することもあります。
- PDFデータはインポートフォルダにある状態では表示できません。FOMA端末にコピーしてから表示してください。
- ムービーはFOMA端末にコピーできません。
- 次のようなメールは、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - ■ 添付ファイルの合計が100Kバイトを超えるメール
  - ■ 添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
- インポートフォルダのデータについては、次のようなファイル名の制限があります。制限を超えているデータは表示されず、インポートできません。
  - ■ PIMデータ、静止画、ｉモーション、メロディは、全角・半角を問わず228文字以内(拡張子を除く)
  - ■ PDFデータは、全角・半角を問わず60バイト以内(拡張子を除く)
- ファイル名が英小文字で８文字以下のときは、インポートフォルダでは英大文字で表示・インポートされます。
- インポートフォルダからFOMA端末にデータをコピーする場合、ファイル名に特殊な記号やカタカナが含まれているときは、コピーできないことがあります。

インポートフォルダ内のデータを一括で振り分ける <microSD一括振分け>

microSDカードのインポートフォルダに保存したデータを、一括でそれぞれのフォルダに振分けできます。

- 振分けできるのは、次の機能のデータです。
  - ■ メロディ　■ マイピクチャ　■ ｉモーション
  - ■ マイドキュメント　■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック
  - ■ Microsoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイル
  - ■ 電話帳　■ メール　■ スケジュール
  - ■ Bookmark　■ メモ帳　■ BMP画像
  - ■ PNG画像

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶[インポート]▶MENU▶[はい]

- 一括振分け中に振分け先フォルダ内の件数がいっぱいになった場合、新しいフォルダを自動で作成して振り分けます。ただし、電子書籍／電子辞書／電子コミック、Microsoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイル、BMP画像、PNG画像の場合、新しいフォルダは作成されません。

ｉモーションについて

- インターネットでダウンロードした動画は振り分けされません。
- 拡張子が「.m4a」のデータは拡張子を「.3gp」に変換して、microSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILE¥MUDxxxフォルダへ振り分けされます。

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

- テキスト形式のファイルは、XMDF形式のファイルと同じようにmicroSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥BOOKフォルダへ振り分けされます。

各種フォルダを管理する

■ ユーザフォルダを作成する<フォルダ新規作成>

- データBOXでは、各データ種別ごとに最大20個のユーザフォルダを新規作成できます。
- マンガ・ブックリーダーでは、最大397個のユーザフォルダを作成できます。[マンガ]フォルダについては、フォルダ内にさらに最大999個のフォルダを作成することができます。

1 フォルダ一覧画面でMENU▶[フォルダ管理]▶[フォルダ新規作成]

2 フォルダ名入力欄を選ぶ▶◉▶フォルダ名を入力▶◉▶📷

- microSDカード内にユーザフォルダを作成するとき、作成するフォルダの種類を選択できる場合があります。
- データBOX内のときは、全角９文字(半角18文字)まで入力できます。

- ［移行可能コンテンツ］フォルダ内のときは、全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- マンガ･ブックリーダー内のときは、全角･半角問わず64文字まで入力できます。ただし、［マンガ］フォルダ内のときは、全角10文字（半角20文字）までです。

■ フォルダ名を編集する＜フォルダ名編集＞

ユーザフォルダおよび［移行可能コンテンツ］フォルダ内のフォルダ名を変更することができます。

1 **フォルダを選ぶ▶MENU▶［フォルダ管理］▶［フォルダ名編集］**

2 **フォルダ名入力欄を選ぶ▶◉▶フォルダ名を編集▶◉▶📷**

■ ユーザフォルダにセキュリティを設定する＜フォルダセキュリティ＞

FOMA端末内のユーザフォルダにセキュリティを設定できます。

- ワンセグとMusic&Videoチャネル、マンガ･ブックリーダーでは、ユーザフォルダ以外でもフォルダセキュリティを設定できます。
- フォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力します。
- マイピクチャ、ｉモーション･ムービーの場合、フォルダセキュリティを［ON（シークレット）］に設定すると、フォルダは表示されなくなります。シークレットモードを［ON］に設定すると表示されます（☞P.133）。
- クイック検索で内蔵辞書を利用する場合、内蔵辞書登録（☞P.439）された電子辞書はフォルダセキュリティの対象外となります。
- フォルダセキュリティを［ON］に設定しても、待受画面などに設定されている画像は表示できます。

フォルダセキュリティ設定中のフォルダマーク

	［ON］		［ON（シークレット）］

- フォルダマークのデザインは、機能や表示切替の設定によって異なる場合があります。

1 **ユーザフォルダを選ぶ▶MENU▶［フォルダ管理］▶［フォルダセキュリティ］**

2 **端末暗証番号を入力▶◉**

3 **設定を選ぶ▶◉**

■ ユーザフォルダを削除する＜削除＞

1 **ユーザフォルダを選ぶ▶MENU▶［削除］**

2 **削除方法を選ぶ**

- ◆ **［フォルダ1件削除］**
- ◆ **［フォルダ選択削除］▶フォルダを選ぶ▶◉▶📷**
  - マンガ･ブックリーダーのとき：［フォルダ選択削除］▶端末暗証番号を入力▶◉▶フォルダを選ぶ▶◉▶📷▶［はい］
- ◆ **［全フォルダ内全件削除］**
- ◆ **［全フォルダ削除］**

3 **端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］**

- マンガ･ブックリーダーの場合、ビューアポジションで横表示のときはフォルダ選択削除できません。縦表示に切り替えてから削除してください。

各種データを管理する

■ タイトルを編集する＜タイトル編集＞

- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。

1 **データを選ぶ▶MENU▶［編集･情報表示］▶［タイトル編集］**

- データによっては［タイトル編集］を選択したあと、［直接入力］（または［タイトル編集］）／［オリジナルタイトルに戻す］を選択します。

2 **タイトル入力欄を選ぶ▶◉▶タイトルを編集▶◉▶📷**

- 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。電子書籍／電子辞書／電子コミックは全角･半角問わず64文字まで、Music&Videoチャネルは全角126文字（半角253文字）まで入力できます。

■ ファイル名を編集する＜ファイル名編集＞

- ファイル名はデータをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。

1 データを選ぶ ▶ MENU ▶ [編集･情報表示] ▶ [ファイル名編集]

2 ファイル名入力欄を選ぶ ▶ ◉ ▶ ファイル名を編集 ▶ ◉ ▶ 📷

- 半角36文字まで入力できます。電子書籍／電子辞書／電子コミックは、全角･半角問わず64文字まで入力できます。

> - 半角８文字以内のファイル名および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わることがあります。
> - [プリインストール]フォルダ内のデータなど、データによってはファイル名を編集できないものもあります。

■ データの分類情報を登録する＜分類登録＞

登録した分類情報でデータBOX検索ができます。また、分類が[アルバム]のものは選択した項目で表示することができます。

- ミュージック内とMusic&Videoチャネル内のデータには分類情報を登録できません。

1 データを選ぶ ▶ MENU ▶ [分類登録] ▶ 分類を選ぶ ▶ ◉

2 登録方法を選ぶ

- ◆ **[１件登録]**
- ◆ **[選択登録] ▶ データを選ぶ ▶ ◉ ▶ 📷**

3 分類を設定する

- 分類が[アルバム]／[シーン]のとき：項目を選ぶ ▶ ◉ ▶ 📷
  - ☑は設定、□は解除の状態です。
- 分類が[お気に入り]のとき：お気に入り度を選ぶ ▶ ◉
- 分類が[コメント]のとき：コメント入力欄を選ぶ ▶ ◉ ▶ コメントを入力 ▶ ◉
  - 全角14文字（半角29文字）まで入力できます。

4 [はい]

> - [アルバム]と[シーン]はマイピクチャ内とｉモーション･ムービー内のデータのみ設定できます。

■ データの閲覧回数をクリアする＜閲覧回数のクリア＞

1 データを選ぶ ▶ MENU ▶ [分類登録] ▶ [閲覧回数のクリア]

2 クリア方法を選ぶ

- ◆ **[１件クリア]**
- ◆ **[選択クリア] ▶ データを選ぶ ▶ ◉ ▶ 📷**

3 [はい]

■ データを並べ替える＜ソート＞

例：マイピクチャのとき

1 データ一覧画面で MENU ▶ [静止画設定] ▶ [ソート]

2 ソート方法を選ぶ ▶ ◉

> - microSDカード内データのファイル制限を変更すると日時情報が更新されるため、情報表示の保存日時で表示される日時と日付順でソートした結果が一致しないことがあります。

■ データを別のフォルダに移動する＜フォルダ間移動＞

1 データを選ぶ ▶ MENU ▶ [移動／コピー] ▶ [フォルダ間移動]

2 移動方法を選ぶ

- ◆ **[１件移動]**
- ◆ **[選択移動] ▶ データを選ぶ ▶ ◉ ▶ 📷**
- ◆ **[フォルダ内全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ◉**

3 移動先フォルダを選ぶ ▶ 📷

- マンガ･ブックリーダーのとき：移動先フォルダを選ぶ ▶ ◉
- データの移動中にCLRや終話キーを押すと、中止を示すメッセージが表示されますが、移動処理は中止されません。

> - マイピクチャ、メロディ、マンガ･ブックリーダーの[プリインストール]フォルダ内のデータは移動できません。

- ユーザフォルダがないときは移動できません。ただし、静止画はマイピクチャの[自動お預かり]フォルダへ移動できる場合があります。
- 移動先フォルダの最大保存件数を超えるデータは移動できません。microSDカードの保存件数については☞P.386
- microSDカードの[動画(その他)]フォルダ内のデータは[動画(QVGA以下)]には移動できません。
- マンガ・ブックリーダーの場合、ビューアポジションで横表示のときは移動できません。縦表示に切り替えてから移動してください。
- 再配布不可のデータは[自動お預かり]フォルダへ移動できません。

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

1 データを選ぶ▶MENU▶[編集・情報表示]▶[情報表示]

- 表示される情報は、データによって異なります。

■ データを削除する<削除>

1 データを選ぶ▶MENU▶[削除]

2 削除方法を選ぶ

◆ **[1件削除]**

◆ **[選択削除]▶データを選ぶ▶◉▶📷**

◆ **[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶◉**

3 [はい]

- マイピクチャ、メロディの[プリインストール]フォルダ内のデータや、マンガ・ブックリーダーの明鏡モバイル国語辞典、ジーニアスモバイル和英辞典、ジーニアスモバイル英和辞典は削除できません。
- マンガ・ブックリーダーの場合、ビューアポジションで横表示のときは選択削除できません。縦表示に切り替えてから削除してください。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除後にもう一度ご利用になるときは、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます(☞P.141)。

カメラギャラリーを使う<カメラギャラリー>

データBOXのマイピクチャ、i モーション・ムービーのデータを年月別に検索し表示することができます。

1 待受タッチランチャで[カメラギャラリー]

- 静止画撮影画面/動画撮影画面では:✉

2 検索する年月を選ぶ▶◉

- 全表示:MENU

3 データを選ぶ▶◉

データBOX内のデータを検索する<データBOX検索>

タイトル名や保存日付、分類情報などの条件を設定して、データBOX内から条件に合ったデータを検索できます。

- マイピクチャ、i モーション・ムービー、ワンセグ、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、その他のデータを検索できます。
- 複数の条件を設定し、絞り込み検索を行うことができます。
- 検索結果は最大10000件まで表示されます。
- microSDカード内のデータを検索するときは、microSDカードの管理情報を更新してください(☞P.393)。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[データBOX検索]

2 検索条件を設定

◆ **[タイトル名で検索]▶[検索語:<未設定>]▶検索文字列を入力▶◉**

・全角25文字(半角50文字)まで入力できます。

・検索履歴が最新のものから5件まで記憶されます。履歴を利用するときは履歴の番号を選択します。

◆ **[保存日付で検索]▶保存日付を選ぶ▶◉**

・[保存日付範囲指定]を選んだときは、日付範囲を入力して📷を押します。

◆ **[ファイルタイプで検索]▶ファイルの種類を選ぶ▶◉▶📷**

・フレーム画像、スタンプ画像、Flash画像を検索するときは、[マイピクチャ(その他)]を選択します。

◆ [取得元で検索]／[アルバムで検索]／[シーンで検索]▶項目を選ぶ▶◉▶📷
◆ [お気に入りで検索]▶お気に入り度を選ぶ▶◉
◆ [コメントで検索]▶検索文字列を入力▶◉
・全角14文字(半角29文字)まで入力できます。
◆ [閲覧回数で検索]▶閲覧回数を選ぶ▶◉
・[回数範囲指定]を選んだときは、開始／終了回数(0～999)を入力して📷を押します。
● 検索条件を設定した項目には[●]が表示されます。
・解除するとき：MENU▶[解除]

3 検索を開始するときは📷
● 検索の中断／再開：📷
● フォルダセキュリティ表示が[ON]のときは、端末暗証番号の入力が必要です。

4 検索結果を選ぶ▶◉
● 検索結果の並べ替え：i
・並べ替えは、検索結果画面のサブメニュー操作のソートの設定に従います。

● microSDカードの空き容量がなく管理情報が正しく更新されなかった場合、検索結果に表示されないファイルがあります。

■ フル検索設定画面のサブメニュー操作

[フル検索]	
[カンタン検索]▶検索条件を選ぶ▶◉▶◉ ● [アルバム]を選択したときは、項目を選択して📷	
[フォルダセキュリティ表示]▶設定を選ぶ▶◉	
[設定確認]	
[表示切替]	☞P.361
[検索先設定]▶検索先を選ぶ▶◉	
[検索開始]	
[解除] ● 検索条件を解除します。	

■ 検索結果画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.395
▶[情報表示]	☞P.397
[1件削除]	☞P.397
[分類登録]	☞P.396
[移動／コピー]	
▶[microSDへ1件移動]	☞P.389
▶[microSDへ1件コピー]	☞P.388
▶[本体へ1件移動]	☞P.389
▶[本体へ1件コピー]	☞P.388
[検索表示設定]	
▶[表示切替]	☞P.361
▶[ソート]	☞P.396

アルバムを表示する<アルバム>

分類登録の[アルバム]の項目で検索し、データを表示することができます。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[アルバム]

2 項目を選ぶ▶◉▶📷
● 選択した項目には[☑]が表示されます。解除するときは再度◉を押します。

メモリの使用状況を確認する

■ FOMA端末のメモリ使用状況を確認する

データBOXのデータ一覧画面でFOMA端末のメモリ使用状況を示す数値が表示されます。
● 表示切替が[ビジュアルメニュー]以外のときは、フォルダ一覧画面(ミュージックを除く)でも表示されます。また、[メロディ]、[キャラ電]のフォルダ一覧画面では表示切替が[ビジュアルメニュー]でも表示されます。

マイピクチャの
データ一覧画面の場合

■ 各項目ごとのメモリ使用状況を確認する<メモリ確認>

FOMA端末に保存されているデータの容量や空き容量などを表示します。

- 電話帳、スケジュールの登録件数の確認については☞P.93、P.431

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[その他設定]▶[メモリ確認]

- 表示される単位の切替：📷

- ｉアプリには削除できないものがあるため、ｉアプリの使用量が０％になることはありません。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

データを保存するときにメモリが足りなくなると、上書き確認画面が表示され不要なデータやファイルを削除して保存できます。

- 通常スケジュール／ｉスケジュールの上書きについては☞P.202

1 上書き確認画面で[はい]

2 端末暗証番号を入力▶◉

3 データを選ぶ▶◉▶MENU▶[はい]

- メモリの確保状態が100%になるまでデータを選択します。
- ミュージックのときは、データを選んで📷を押すと音楽データが再生されます。

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。また、ｉアプリと連携して、赤外線通信機能を搭載した機器と連動させたりできます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- FOMA端末の赤外線送受信機能はIrSimple™ 1.0規格に対応しています。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になり、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 通話中やオールロック中、セルフモード中は赤外線通信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳やプロフィールの送受信ができません。

赤外線通信で送受信できるデータ

- microSDカード内のデータは送受信できません。ただし、microSDカード内のJPEG画像は送信できます。
- ｉアプリToが貼り付けられたｉモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。

■ FOMA端末から送信できるデータ

機　能	1　件	全　件
電話帳	○	○
スケジュール	○	○
メモ帳	○	○
ｉモードメール、SMS、エリアメール	○	○
Bookmark	○	○
データBOXの画像、ｉモーション、メロディ、PDF	○	○
プロフィール	○	−
現在地通知先	○	○
トルカ	○	○
デコメアニメ®テンプレート	○	○

データ管理

次ページへ続く▶▶

- 絵文字をｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信したときは、正しく表示されないことがあります。ｉモード端末でも相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。

電話帳について

- 次の情報は送信されません。
  - シークレットコード
  - 着信音
  - 着信バイブレータ
  - 着信イルミネーションパターン
  - 着信イルミネーションカラー
  - テレビ電話代替画像
- １件送信では、グループ設定は送信されません。
- シークレット属性設定した電話帳はシークレットモードを[ON]に設定しないと１件送信できません。１件送信した場合、シークレット属性設定は解除されて送信されます。
- 全件送信すると、プロフィールやシークレット属性設定した電話帳も送信されます。

スケジュールについて

- 次の情報は送信されません。
  - アラーム時刻以外のアラーム情報
  - 画像設定
  - 連絡先
  - 視聴予約、録画予約
  - 祝日設定
  - 誕生日データ
- シークレット属性設定したスケジュールはシークレットモードを[ON]に設定しないと１件送信できません。１件送信した場合、シークレット属性設定は解除されて送信されます。
- 全件送信すると、シークレット属性設定したスケジュールも送信されます。
- 全件送信時、ｉスケジュール内予定は送信されません。

メールについて

- 貼り付けられたデータ、添付ファイル、保護メールも送信されます。添付不可のデータは送信できません。
- 100Kバイトを超えるメールは、正しく送信できないことがあります。

画像、ｉモーション、メロディ、PDFについて

- 送信できるデータはJPEG画像10Mバイト、GIF画像２Mバイト、Flash画像500Kバイト、ｉモーション10Mバイト、メロディ100Kバイト、PDF２Mバイトまでです。
- 赤外線通信で画像を送信すると、画質が劣化したりファイルサイズが変わることがあります。
- 次のようなデータは送信できません。
  - FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデータ
  - FOMA端末にあらかじめ登録されているデータ
- データBOX内のデータは赤外線通信で送信できないことがあります。
- JPEG画像は高速赤外線通信で送信することができます（☞P.366）。

プロフィールについて

- 受信側では電話帳として保存されます。
- 2in1利用時は、2in1のモードによって表示されるプロフィールが送信されます。

トルカについて

- 次のようなデータは送信できません。
  - １Kバイトを超えるトルカ
  - 再配布不可のトルカ
  - 100Kバイトを超えるトルカ（詳細）
  - 利用済みトルカ

デコメアニメ®テンプレートについて

- 次のようなデータは送信できません。
  - FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデコメアニメ®テンプレート
  - FOMA端末にあらかじめ登録されているデコメアニメ®テンプレート

■ FOMA端末で受信できるデータ

機　能	１件	全件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	１件受信時：メモリ番号、0010～1999→0000～0009の順で未登録番号に登録 全件受信時：メモリ番号の情報に従って登録
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順
メモ帳	○	○	メモ帳	最終修正日時順
ｉモードメール、SMS、エリアメール	○	○	ｉモードメール、SMS	受信／送信／保存日時順

データ管理

機　能	1件	全件	格納場所	格納順
Bookmark	○	○	Bookmark	1件受信時：一番上 全件受信時：利用された順
データBOXの画像、iモーション、メロディ、PDF	○	○	データBOXのマイピクチャ、iモーション・ムービー、メロディ、マイドキュメント	－
プロフィール	○	－	電話帳	メモリ番号、0010～1999→0000～0009の順で未登録番号に登録
現在地通知先	○	○	現在地通知先一覧	－
トルカ	○	○	トルカ	－
デコメアニメ®テンプレート	○	○	デコメアニメ®テンプレート一覧	－

- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- 全件受信の場合、相手の機種や状態によっては、相手の機種で設定していたフォルダの振分け条件設定が反映されない場合があります。

電話帳について

- 1件受信したデータのグループ設定は、すべて[グループなし]になります。
- 全件受信すると、ご契約の電話番号以外のプロフィールは上書きされます。
- 名前が未登録のデータを受信したときは[No Name]と表示されます。
- 2in1のモードが[デュアルモード]の場合、1件受信したときは、電話帳2in1設定を[A]／[B]／[共通]から選択することができます。全件受信したときは、転送元の2in1属性のまま保存されます。
- FOMAカード電話帳を受信した場合は、FOMA端末に登録されます。

スケジュールについて

- 終了日時が入力されていないデータを受信すると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて

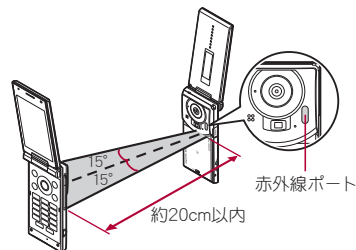
- 題名が途中までしか受信できないことがあります。

Bookmarkについて

- 相手の機種によってはBookmarkのフォルダ情報が反映されないことがあります。

現在地通知先について

- すでに同じ電話番号の現在地通知先が登録されているときは、重複して登録されません。

赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

- 図のように受信側と送信側のFOMA端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。

次ページへ続く

- 赤外線通信が正常にできなかったときは、続けるかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、やり直すことができます。FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- IrSS™通信は、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

赤外線通信でデータを送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

■ データを送信する＜赤外線送信＞

例：電話帳のとき

1 待受画面で◎

2 名前を選ぶ▶MENU▶[データ送信]▶[赤外線送信]

3 送信方法を選ぶ

◆ **[送信]**

◆ **[全件送信]▶端末暗証番号を入力▶◉▶認証パスワードを入力▶◉**

- 受信者のFOMA端末を受信待ち状態にします。

4 [はい]

- 全件送信の場合、受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。

- データBOXのデータを全件送信するときは、フォルダ一覧画面から操作してください。

■ データを受信する＜赤外線受信＞

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[赤外線／ｉC通信]▶[赤外線受信]

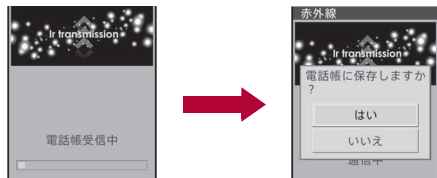
- 待受画面で◎(1秒以上)でも操作できます。

2 受信方法を選ぶ

◆ **[受信]▶[はい]**

◆ **[全件受信]▶端末暗証番号を入力▶◉▶送信側と同じ認証パスワードを入力▶◉▶[はい]**

- 送信側のFOMA端末を送信状態にします。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

例：電話帳を1件受信したとき

3 [はい]

- 受信の中止：受信中に◉

- スケジュールを1件受信した場合、同じ内容のデータが存在するときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと現在のデータに上書きされます。
- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、保護されているメールやシークレット属性設定した電話帳、スケジュールなども含め、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。ただし、データBOXの画像やｉモーション、メロディ、PDF、またはデコメアニメ®テンプレートの場合、元のデータは削除されずに追加保存されます。

ｉアプリと連携して赤外線通信を行う

起動中のｉアプリから赤外線通信を利用したり、赤外線通信からｉアプリを起動したりできます。

- ｉアプリから赤外線通信を起動する方法については☞P.326

■ 赤外線通信からｉアプリを起動する＜赤外線受信＞

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、ｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[赤外線／ｉＣ通信]▶[赤外線受信]▶[受信]▶[はい]

- 受信待ち状態になります。送信側からｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動します。

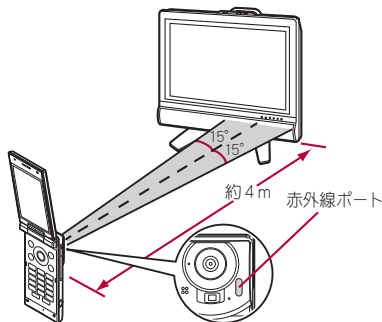
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。

赤外線リモコン機能を利用する<赤外線リモコン>

ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。

- 赤外線リモコン機能を利用するときは、赤外線リモコン機能に対応したｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります。

■ リモコン操作を行う

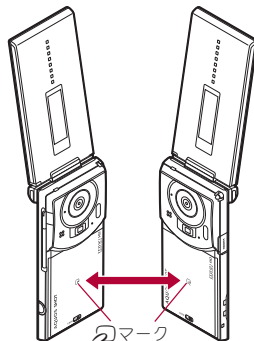
赤外線リモコン機能に対応したｉアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。

- 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。
- 操作できる距離は、約４ｍです（相手側の機器や周囲の明るさなどによって変わります）。

- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。
- 相手側の機器によっては、正常に操作できないことがあります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できないことがあります。

ｉＣ通信

ｉＣ通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。

- ｉＣ通信中は圏外と同じ状態になり、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 通話中やＩＣカードロック中はｉＣ通信できません。
- データBOXの画像・ｉモーション・メロディ・PDFや、デコメアニメ®テンプレートは全件送受信できません。これ以外の送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信（☞P.399）と同様です。
- ｉアプリからｉＣ通信を起動する方法については☞P.326

ｉＣ通信機能をお使いになるときのご注意

- 図のように受信側と送信側のFOMA端末の マークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、FOMA端末を動かさないでください。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくいことがあります。そのときは、 マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- ｉＣ通信中はFOMA端末の着信ランプが点滅します（☞P.119）。

ｉＣ通信でデータを送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、ｉＣ通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

■ データを送信する<ｉＣ送信>

例：電話帳のとき

1. **待受画面で◎**
2. **名前を選ぶ▶MENU▶［データ送信］▶［ｉＣ送信］**
3. **送信方法を選ぶ**
   - ◆［送信］
   - ◆［全件送信］▶端末暗証番号を入力▶◉▶認証パスワードを入力▶◉
4. **［はい］**
5. **相手のFOMA端末と マークを重ね合わせる**

■ データを受信する<ｉＣ受信>

1. **待受画面で相手のFOMA端末と マークを重ね合わせる**
2. **［はい］**
   - 全件受信のとき：端末暗証番号を入力▶◉▶送信側と同じ認証パスワードを入力▶◉▶［はい］
   - 受信の中止：受信中に◉

- スケジュールを１件受信した場合、同じ内容のデータが存在するときは、上書き確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと現在のデータに上書きされます。
- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、保護されているメールやシークレット属性設定した電話帳、スケジュールなども含め、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

データ送受信設定

データの送受信機能を設定する

赤外線通信やｉＣ通信、Bluetooth通信、パソコンと接続したデータ転送によるデータ送受信時の動作を設定することができます。

1. **ノーマルメニューで［便利ツール］▶［赤外線／ｉＣ通信］▶［データ送受信設定］**
2. **各項目を設定▶📷**

通信終了音について
- ［ON］に設定すると、データの送受信完了時に音が鳴ります。

自動認証について
- 認証コードはそれぞれ４～８桁の半角英数字で入力できます。
- ［あり］に設定すると、パソコンと接続したデータ転送時に認証コードを自動でやりとりします。

電話帳の画像送信について
- ［なし］に設定すると、電話帳の全件送信時に電話帳に登録した画像を送信しません。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます（microSDカードが必要です）。

- 録音距離は、約1.5m以内をおすすめします。
- 録音した音声は、ｉモーションプレーヤー（☞P.369）で再生できます。

ボイスレコーダーで音声を録音する <ボイスレコーダー>

- 録音開始音が鳴り、録音が開始されます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール] ▶ [ボイスレコーダー] ▶ ◉

- 一時停止／再開：MENU

ボイスレコーダー画面

2 録音を止めるときは◉

- 次の場合は、自動的に録音が停止します。
  - ■ 残時間表示が00:00:00になったとき
  - ■ 録音時間が約６時間に達したとき
  - ■ microSDカードの空き容量がなくなったとき

3 [保存]

- 録音した音声を保存します。
- 録音した音声の再生：[再生]
- 録音した音声を取り消す：[取消] ▶ [はい]

- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
- 録音中にFOMA端末を閉じても録音は継続されます。
- 録音中に電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。

■ ボイスレコーダー画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.45
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
録音 Rec	録音開始／再開※1	停止 Stop	録音停止※1※2
II	一時停止※2		

※１　一時停止中に表示されます。
※２　録音中に表示されます。

■ ボイスレコーダー画面のサブメニュー操作

[データBOX表示]

[セルフタイマー] ▶ セルフタイマー時間を選ぶ ▶ ◉

PDF対応ビューア

PDFデータを表示する

- 表示するファイルはあらかじめデータBOXの[マイドキュメント]、またはmicroSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに置いてください。microSDカードに保存したときは、保存してからmicroSDカードの管理情報を更新してください(☞P.393)。

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [マイドキュメント]

- カンタン検索：✉

2 ファイルを選ぶ ▶ ◉

内容表示画面

- FOMA端末に対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントは、正しく表示されないことがあります。
- ファイルによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できないこともあります。
- ファイル名に、～、‖、－、¢、£、¬が含まれるPDFデータは非対応です。

■ 内容表示画面のボタン操作

全画面表示	📷	画面の縮小	1
前ページの表示	✉	表示を90度左回転	2
次ページの表示	i	画面の拡大	3
ページ全体表示（フィット）／等倍表示切替	◉	リンク表示モードに切替	✕
画面を上下左右にスクロール	⊗	ライトアップ	#（1秒以上）

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.45
- コントロールボタンで次の操作ができます。

← 前ページ Back	前ページの表示	+ 拡大 Zoom +	画面の拡大※
→ 次ページ Next	次ページの表示	− 縮小 Zoom −	画面の縮小※

※ サブメニューで[ズーム]を選択したあとに表示されます。ボタンを押すたびに、拡大／縮小の倍率が変わります。Ⓓを押すと倍率の調整が完了します。

・ データによって表示されるボタンが異なります。ボタンが表示されていない場合は、画面をロングタッチするとコントロールボタンが表示されます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.394
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.395
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.395

[削除] ☞P.395

[microSDへ全件移動] ☞P.389

[microSDへ全件コピー] ☞P.387

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.402

[表示切替] ☞P.361

[メモリ確認] ☞P.399

[本体⇔microSD切替]

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
- ▶[タイトル編集] ☞P.395
- ▶[情報表示] ☞P.397

[削除] ☞P.397

[分類登録] ☞P.396

[移動／コピー]
- ▶[フォルダ間移動] ☞P.396
- ▶[microSDへ移動] ☞P.389
- ▶[microSDへコピー] ☞P.388

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.402
- ▶[ｉＣ送信] ☞P.404

[マイドキュメント設定]
- ▶[表示切替] ☞P.361
- ▶[ソート] ☞P.396

[本体⇔microSD切替]

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[表示]
- ▶[ズーム]▶📷（拡大）／MENU（縮小）
- ▶[表示を回転]▶回転方向を選ぶ▶◉
- ▶[リンク表示]
  - リンク表示モードに切り替えます。

▶［ページ移動］
　▶［最初のページ］
　▶［最後のページ］
　▶［指定のページ］▶ページ番号を入力▶◉
▶［ページレイアウト］▶ページレイアウトの種類を選ぶ▶◉
▶［表示モード］▶画面表示方法を選ぶ▶◉
▶［文書のプロパティ］
▶［ライトアップ］

［画面設定］
▶［スクロールバー］▶設定を選ぶ▶◉
▶［倍率・ページ番号］▶設定を選ぶ▶◉
▶［ガイド表示］▶設定を選ぶ▶◉

［画面切り出し］▶［はい］
● 表示しているイメージを静止画として保存します。

［しおり・マーク］
▶［しおり表示］ ☞P.407
▶［ｉモードしおりの追加］ ☞P.408
▶［マーク表示］ ☞P.408
▶［マークの追加］ ☞P.408

［検索］ ☞P.408

［保存］▶［はい］▶フォルダを選ぶ▶📷

［残り全てを取得］▶［はい］
● 未取得のPDFデータをすべて取得します。

［操作ガイド］

［タブ］
▶［新しいタブで開く］
▶［タブを閉じる］▶閉じるタブウィンドウを選ぶ▶◉▶［はい］
▶［タブ切替］▶表示するタブウィンドウを選ぶ▶◉

［ズーム］について
● 拡大は1000%、縮小は８%まで表示できます。

［リンク表示］について
● リンク表示モードにしたときは、画面をスクロールできません。

［画面切り出し］について
● 「460×596」のサイズで、JPEG画像として保存されます。制限があるPDFは切り出しできなかったり、FOMA端末外への出力ができないことがあります。

［タブ］について
● ｉモード中／フルブラウザ中にPDFデータをダウンロードしようとしたとき、PDF対応ビューアが起動した場合に操作できます。

PDFデータのしおりを利用する<しおり表示>

1 内容表示画面でMENU▶［しおり・マーク］▶［しおり表示］

2 しおりの種類を選ぶ▶◉
- ［しおり］を選択すると、あらかじめPDFデータに登録されているしおりを50件まで表示できます。［ｉモードしおり］を選択すると、追加したｉモードしおりを表示できます。

3 しおりを選ぶ▶◉

● PDFデータをFOMA端末から移動すると、追加したしおりが削除されることがあります。

■ ｉモードしおり一覧画面のサブメニュー操作

［削除］
▶［一件削除］▶［はい］
▶［選択削除］▶しおりを選ぶ▶◉▶📷▶［はい］
▶［全件削除］▶端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］

［タイトル編集］▶タイトル入力欄を選ぶ▶◉▶タイトルを編集▶◉

［タイトル編集］について
● 全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

■ iモードしおりを追加する<iモードしおりの追加>

- iモードしおりは10件まで登録できます。

1 内容表示画面で[MENU]▶[しおり･マーク]▶[iモードしおりの追加]▶タイトル入力欄を選ぶ▶●▶タイトルを編集▶●

- iモードしおりがすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きするしおりを選択すると登録されます。

PDFデータのマークを利用する<マーク表示>

- PDFデータをFOMA端末から移動すると、追加したマークが削除されることがあります。

1 内容表示画面で[MENU]▶[しおり･マーク]▶[マーク表示]

2 マークを選ぶ▶●

■ マーク一覧画面のサブメニュー操作

[削除]
- ▶[一件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶マークを選ぶ▶●▶[📷]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶●▶[はい]

■ マークを追加する<マークの追加>

- マークは10件まで登録できます。

1 内容表示画面で[MENU]▶[しおり･マーク]▶[マークの追加]

2 [はい]

- マークがすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きするマークを選択すると登録されます。

PDFファイル内の文字を検索する<検索>

1 内容表示画面で[MENU]▶[検索]▶検索文字列入力欄を選ぶ▶●▶文字列を入力▶●

- 全角8文字(半角16文字)まで入力できます。

2 [📷]

- 次を検索:[i]
- 前を検索:[✉]

■ 検索画面のサブメニュー操作

[大文字小文字を区別]▶設定を選ぶ▶●

[単語に完全一致]▶設定を選ぶ▶●

ドキュメントビューア

Word、Excelファイルなどを表示する

Microsoft Wordファイル、Microsoft ExcelファイルやMicrosoft PowerPointファイルなどを、FOMA端末のディスプレイに表示することができます。

- 表示できるファイルの種類(拡張子):Microsoft Word(.doc、.docx)、Microsoft Excel(.xls、.xlsx)、Microsoft PowerPoint(.ppt、.pptx)、Plain Text(.txt)
- 閲覧するファイルはあらかじめmicroSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥OTHERフォルダに置いてください(☞P.384)。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ドキュメントビューア]

- [データBOX]▶[その他]でも操作できます。
- カンタン検索:[✉]

データ管理

2 ファイルを選ぶ▶◉

- メールの作成：✉▶メールを作成・送信

内容表示画面

- ファイル内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なるときがあります。
- ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できないこともあります。
- フォントの種類によっては、正しく表示されないことがあります。
- ドキュメントビューアで表示されるファイルの詳細については、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-07b/をご覧ください。

■ 内容表示画面のボタン操作

全画面表示	📷	画面の縮小	1
前ページの表示	✉／4	画面の拡大	3
次ページの表示	i／6	表示を90度右回転	5
ページ全体表示（フィット）	◉／2	ページの横幅に合わせる	8
画面を上下左右にスクロール	✤	操作ガイドの表示	0
		スクロール設定切替	#

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.45
- コントロールボタンで次の操作ができます。

	前ページの表示	次ページ Next	次ページの表示

・ビューアポジションで全画面表示中に画面をロングタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

画面を上下左右にスクロール	上下左右にスライド
次／前のページを表示※	上下にスライド
画面の拡大／縮小	2本の指の間隔を広げる／狭める

※ スライドショー表示中に操作できます。先頭または最後のページの場合はスライドショーを終了します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]	
▶[フォルダ新規作成]	☞P.394
▶[フォルダ名編集]	☞P.395
▶[フォルダセキュリティ]	☞P.395
[削除]	☞P.395
[microSDへ全件移動]	☞P.389
[microSDへ全件コピー]	☞P.387
[表示切替]	☞P.361
[メモリ確認]	☞P.399
[本体⇔microSD切替]	

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.395
▶[情報表示]	☞P.397
[削除]	☞P.397
[分類登録]	☞P.396
[移動／コピー]	
▶[フォルダ間移動]	☞P.396
▶[microSDへ移動]	☞P.389
▶[microSDへコピー]	☞P.388
[その他表示設定]	
▶[表示切替]	☞P.361
▶[ソート]	☞P.396

次ページへ続く▶▶

[本体⇔microSD切替]

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[表示]
- ▶[ズームイン]
- ▶[ズームアウト]
- ▶[画面倍率指定]▶倍率(8～1000%)を入力▶◉
- ▶[全体表示]
- ▶[実際の大きさ]
- ▶[幅にあわせる]
- ▶[表示を回転]▶回転方向を選ぶ▶◉
- ▶[全画面表示]

[ページ移動]
- ▶[前のページ]
- ▶[次のページ]
- ▶[指定のページ]▶移動するページを入力▶◉
- ▶[最初のページ]
- ▶[最後のページ]

[検索] ☞P.410

[画面切り出し]
- ▶[画像保存]▶[はい]
  - 表示しているイメージを静止画として保存します。
- ▶[メール作成]▶[はい]▶メールを作成・送信
  - 表示しているイメージをメールに添付して送信します。

[スライドショー]
- PowerPointファイルのスライドショーを表示します。
- 全画面で表示:スライドショー表示中に[📷]

[表示設定]
- ▶[ステータスバー設定]▶設定を選ぶ▶◉
- ▶[スクロールバー設定]▶設定を選ぶ▶◉
- ▶[マップ設定]▶設定を選ぶ▶◉
  - 画面左下に現在表示している位置を示すマップを表示するかどうかを設定します。
- ▶[スクロール設定]▶設定を選ぶ▶◉

[ドキュメントビューア設定]
- ▶[ライトアップ]
- ▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶◉
  - 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

[操作ガイド]

[スライドショー]について
- 5秒経過する前に次のイメージを表示させるときは◉を押してください。最後のイメージを表示しているときは◉を押すと、スライドショー前の画面に戻ります。

[スクロール設定]について
- [2方向]に設定すると、ファイルの横幅を画面の横幅に合わせ、倍率を自動的に変更して表示します。

ファイル内の文字を検索する<検索>

1 内容表示画面で[MENU]▶[検索]

2 各項目を設定▶[MENU]
- 検索する文字や条件を変更:◉
- 次を検索:[📷]
- 前を検索:[MENU]

検索文字列について
- 全角8文字(半角16文字)まで入力できます。

電子書籍／電子辞書／電子コミックを表示する

電子書籍／電子辞書／電子コミックを、FOMA端末で表示できます。

- お買い上げ時は、FOMA端末に次の電子辞書などが登録されています。
  - ■ 明鏡モバイル国語辞典（電子辞書）
    使用頻度の高い現代語を中心に約４万7100語句収録。ことわざ成句も解説。
  - ■ ジーニアスモバイル英和辞典（電子辞書）
    英会話や新聞・小説を読むときに便利なモバイル英和。約４万5700語句収録。
  - ■ ジーニアスモバイル和英辞典（電子辞書）
    現代語を中心に約５万5800語句を収録した、本格語数のモバイル和英。

  （「明鏡モバイル国語辞典」「ジーニアスモバイル英和辞典」「ジーニアスモバイル和英辞典」 ©2005-2009 Taishukan）
- 電子書籍、電子コミックなどは、サイトなどからダウンロードできます（☞P.202）。

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［マンガ・ブックリーダー］

2 データを選ぶ▶◉

- パスワードが必要なとき：パスワードを入力▶◉

内容表示画面

- 表示できる電子書籍などの種類（拡張子）は次のとおりです。

	形　式	拡張子
電子書籍	XMDF	「.zbf」
	テキスト	「.zbk」「.txt」「.text」
電子辞書、電子コミック	XMDF	「.zbf」

- 前回の閲覧時にCLRを押して終了したデータを選んだときは、終了時に表示されていたページが表示されます。
- 前回の閲覧時に終話キーを押して終了したときは、マンガ・ブックリーダーを起動すると自動的に終了時のページが表示されます。ただし、コラムリーダーから起動したときは表示されません。
- データに埋め込まれている音声や画像によっては、ご利用になれないことがあります。
- 電子書籍などには、閲覧回数／閲覧期限／閲覧期間の閲覧制限が設定されているものがあります。これらのデータを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。内容を確認してください。
- microSDカードにも保存できます。microSDカードに保存した電子書籍などは、一覧画面に最大400件表示できます。［マンガ］フォルダ内のデータは最大999件表示できます。

■ 内容表示画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
ページを戻る※1	📷	行を進める	◉／◉
前ページの表示	✉	コマを戻す※3	◉／◉
次ページの表示	i	コマを進める※3	◉／◉
画面を上下左右にスクロール※2	✤	縮小※2	1
		コマ／ページ切替※4	2
行を戻す	◉／◉	拡大※2	3

※１　履歴がないときは先頭のページが表示されます。
※２　電子コミックのページ表示中に操作できます。
※３　電子コミックのコマ表示中に操作できます。
※４　電子コミック表示中に操作できます。

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.45
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
Jump	ページを戻す(履歴があるとき)※1	← Hold ◁◁	行／コマを戻す※2
→ Hold ▷▷	行／コマを進める※2		

※1　履歴がないときは先頭のページが表示されます。
※2　ロングタッチすると、連続して行／コマを移動します。

- 次のタッチ操作ができます。

操作		タッチ操作
行を移動	進める	右／上にスライド
	戻す	左／下にスライド
コマ移動(電子コミックのコマ表示中)	進める	右／上にすばやくスライド
	戻す	左／下にすばやくスライド
前ページの表示		下／左にすばやくスライド
次ページの表示		上／右にすばやくスライド
リンク先の表示		反転表示しているリンクをタッチ

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.394
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.395
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.395

[削除] ☞P.395

[表示フォルダ切替]▶フォルダを選ぶ▶◉

[本体⇔microSD切替]

[ファイルリストへ切替]([マンガ]フォルダ内のみ)
- フォルダ一覧画面からデータ一覧画面に切り替えます。

[表示フォルダ切替]について

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式の電子書籍を利用していたときに、その電子書籍の入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できないことがあります。
- SH-01Aより前に発売された機種でmicroSDカードに保存した電子書籍などは、[マンガ・ブックリーダー2]を選択すると表示できます。

[ファイルリストへ切替]について

- [マンガ]フォルダ内でフォルダとデータが混在する場合は、フォルダ一覧画面が表示されます。ファイルリストへ切替を行わないとデータ一覧画面は表示されません。

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集](FOMA端末保存データ、[ｉモード]／[マンガ]フォルダ内のデータのみ) ☞P.395

[ファイル名編集](microSDカード保存データのみ) ☞P.396

[削除] ☞P.397

[情報表示] ☞P.397

[移動／コピー]
- ▶[フォルダ間移動] ☞P.396
- ▶[microSDへ移動] ☞P.389
- ▶[microSDへコピー] ☞P.388

[表示フォルダ切替]▶フォルダを選ぶ▶◉
- [表示フォルダ切替]について☞P.412

[ソート]([ｉモード]／[マンガ]フォルダ内のデータのみ) ☞P.396

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶◉
- 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

[本体⇔microSD切替]

[フォルダリストへ切替]([ｉモード]／[マンガ]フォルダ内のデータのみ)
- データ一覧画面からフォルダ一覧画面に切り替えます。

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[文字列コピー]▶最初の文字を選ぶ▶◉▶最後の文字を選ぶ▶◉

[しおり設定]
- ▶[しおりをはさむ]▶しおりを選ぶ▶⦿
- ▶[しおりへ移動]▶しおりを選ぶ▶⦿

[情報表示] ☞P.397

[現在位置確認]

[移動]
- ▶[目次]▶項目を選ぶ▶⦿
  - 目次からページを表示します。
- ▶[先頭へ]
- ▶[最後へ]
- ▶[リストへ]
  - データ一覧画面に戻ります。
- ▶[%指定移動]▶%を入力▶⦿
  - 全体に対する位置を%で指定してページを移動します。

[表示設定]
- ▶[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ▶⦿
- ▶[縦横設定]▶設定を選ぶ▶⦿
  - 縦書き、横書きを切り替えます。
- ▶[ルビ表示]▶設定を選ぶ▶⦿
  - ふりがなを表示するかどうか設定します。
- ▶[画像サイズ]▶設定を選ぶ▶⦿
  - 画像を表示するサイズを切り替えます。
- ▶[行間設定]▶設定を選ぶ▶⦿
  - 行間を広げるかどうか設定します。

[マンガ表示設定]▶設定を選ぶ▶⦿

[音量設定]▶音量を選ぶ▶⦿

[バイブレータ設定]▶設定を選ぶ▶⦿

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶⦿
- 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

[文字列コピー]について
- 一度にコピーできる文字数は、最大全角128文字(半角128文字)です。ただし、一度にコピーできる文字数はコンテンツにより異なります。
- コピーできない文字もあります。
- 電子コミックによっては、文字列コピーができないものがあります。

[しおりをはさむ]について
- 1冊につき最大2個(最大10冊)のしおりを設定できます。
- 11冊目のしおりを設定すると、一番古いしおりが削除されます。

[しおりへ移動]について
- 電子コミックのページ表示画面では、[しおりへ移動]は選択できません。

自動しおりについて
- マンガ・ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに[自動しおり1]が設定されます。
  次に同じ電子書籍などを表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが[自動しおり1]に設定され、前回の[自動しおり1]は[自動しおり2]に設定されます。
- 1冊につき最大2個(最大10冊)の自動しおりを設定できます。
- 11冊目の自動しおりを設定すると、一番古い自動しおりが削除されます。
- パスワードが設定されているデータは、自動しおりが表示できません。

[移動]について
- 電子コミックのページ表示画面では、[移動]は選択できません。

[文字サイズ設定]、[縦横設定]、[ルビ表示]について
- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されているものがあります。
- 電子コミックの吹き出しの中の文字は画像です。文字サイズ設定や縦横設定、ルビ表示は反映されません。
- データによってルビの有無は異なります。

[マンガ表示設定]について
- 電子コミックのコマ表示画面では、縮小、拡大はできません。
- 電子コミックによっては、コマ表示/ページ表示を切り替えることができないものがあります。

電子辞書で調べる

電子辞書で、用語を入力して調べることができます。

- 電子辞書の購入は、パソコンから操作してください。
- 電子辞書は次のシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」でご購入いただけます。
  http://www.spacetown.ne.jp/
  ・パソコンからサイトに接続してご購入した電子辞書は、microSDカードに格納してFOMA端末で使用できます(☞P.384)。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[マンガ・ブックリーダー]

2 電子辞書を選ぶ▶◉

3 検索語欄を選ぶ▶◉▶検索語入力欄を選ぶ▶◉

4 用語を入力▶◉▶📷

- 255文字まで入力できます。

5 用語を選ぶ▶◉

Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する

電子書籍などで反転表示された文字情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)やPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、電話発信やメール送信、サイト接続ができます。

1 内容表示画面で電話番号やメールアドレス、URLなどを選ぶ▶◉

- 画像のとき:画像を選ぶ▶◉▶[リンクへ移動]

2 操作を選ぶ▶◉

- URLの場合、接続方法を選択するとサイト接続します。
- 電話発信やメール送信、サイト接続の操作については☞P.198

リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ▶◉

動画/音声を再生する<動画/音声の再生>

画像に動画/音声の情報が設定されているときは、動画/音声を再生できます。

1 内容表示画面で画像を選ぶ▶◉▶[動画/音声の再生]

マスク(目隠し)された情報を表示する

1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ

- ◆ **文字列を選ぶ▶◉**
- ◆ **画像を選ぶ▶◉▶[マスクの切替]**

電子書籍/電子辞書/電子コミック内の画像を保存する<マイピクチャ登録>

電子書籍などに表示された静止画を、マイピクチャ内の[カメラ]フォルダに保存できます。

- 画像保存件数は、最大3000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなります。

1 内容表示画面で静止画を選ぶ▶◉▶[マイピクチャ登録]

- PNG形式など、保存できない画像もあります。
- すべて著作権のある画像として保存されます。microSDカードへの保存や、メールへの添付はできません。

HDMI接続

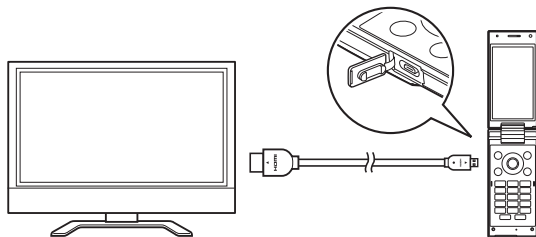
テレビに静止画や動画／ｉモーション、ムービーを表示する

FOMA端末とHDMI端子付きテレビを接続すると、撮影した静止画や動画などをテレビに表示することができます。

- テレビとFOMA端末を市販のHDMIケーブルで接続して利用します。詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をお読みください。
- シャープ製のファミリンク対応テレビ「AQUOS」と接続した場合、ファミリンクならではの便利な連動機能で操作を楽しめます。
  対応機器などの詳細については「ケータイdaSH」をご覧ください。
  http://www.sharp.co.jp/k-tai/

テレビに接続する<HDMI接続開始>

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［HDMI接続］▶［HDMI接続開始］

2 HDMIケーブルで接続する

- FOMA端末のディスプレイには［HDMI接続中］と表示されます。
- テレビにはHDMIメニューが表示されます。
- FOMA端末での表示に戻す：HDMIメニューで［接続解除］
- HDMIケーブルを接続していない状態で出力を開始した場合、または映像出力中にケーブルが抜けてしまった場合は一定時間接続待機状態となります。

HDMIケーブルについて

- HDMIマイクロプラグ（Dタイプ）に対応したHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIケーブルは、必ず市販のHDMI規格認証品（カテゴリー２推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用したときは、正常に動作しないことがあります。
- HDMIケーブルを接続するときは、確実に差し込んでください。無理に差し込んだり抜いたりすると、HDMI端子やコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- プラグを抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。
- HDMIケーブルは、テレビのHDMI入力端子に接続してください。

HDMI接続時の出力解像度を設定する<出力解像度設定>

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［HDMI接続］▶［出力解像度設定］

2 サイズを選ぶ▶◉

- 出力解像度設定を［720p］以外に設定しても、出力解像度は［720p］でテレビと接続します。［1080p］に設定している場合、データを表示／再生したときに出力解像度が［1080p］になります（接続先のテレビにより1080pで表示／再生できない場合があります）。また、［自動］に設定している場合、データの表示サイズ、接続先のテレビに応じて、適切なサイズで出力します（マイピクチャとｉモーション・ムービーのみ）。

データをテレビに表示する

■ 画像を表示する

1 **HDMIメニューで[マイピクチャ]▶画像を選ぶ▶◉**

- リスト表示中:画像を選ぶ▶◉▶[はい]
- 表示中のボタン操作については☞P.362

■ ｉモーション･ムービー･音楽を再生する

1 **HDMIメニューで[ｉモーション･ムービー]／[ミュージックプレーヤー]▶データを選ぶ▶◉**

- リスト表示中:データを選ぶ▶◉▶[はい]
- 横画面で表示されます。
- 再生中のボタン操作については
  - ｉモーション☞P.370
  - ムービー☞P.217
  - ミュージックプレーヤー☞P.287

■ その他の画面を表示する

メニュー、ｉモード、フルブラウザ、ミュージック、PDF ビューア、ドキュメントビューア、メール、電話帳は、FOMA端末のディスプレイと同様の内容が横画面で表示されます。ｉアプリは横／縦画面で表示されます。

- HDMI出力中、着信やアラーム、ワンセグの録画予約などが動作した場合は、HDMI出力を停止します。
- HDMI出力中、タッチ操作は無効です。
- HDMI出力中は、FOMA端末と接続したテレビなどの機器で音量を調節してください。また、FOMA端末を取り外す前に、テレビの音量が大きくなりすぎていないことを確認してください。
- HDMI出力中、イヤホンやBluetooth機器から音声は出力されません。
- HDCP非対応のテレビと接続した場合、映像･音声は出力されません。
- HDMI出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビのリモコン等で入力を切り替えてください。
- 接続するテレビによってはFOMA端末から出力する映像が画面に収まらない場合があります。その場合、テレビ側の表示設定を変更してください。
- HDMI出力中に着信があった場合、着信音、着信画面にｉモーションやFlash画像を設定していても、設定は解除されます。

操作ガイドの自動表示について設定する

<ガイド自動表示設定>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[HDMI接続]▶[ガイド自動表示設定]**

2 **設定を選ぶ▶◉**

AQUOSファミリンクについて設定する

<AQUOSファミリンク設定>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[HDMI接続]▶[AQUOSファミリンク設定]**

2 **項目を選ぶ▶◉**

3 **設定を選ぶ▶◉**